

## 配付資料

- 資料 1 令和 5 年度の事業実施状況（広島）
- 資料 2 令和 5 年度の事業実施状況（長崎）
- 資料 3 令和 6 年度の事業計画（広島）
- 資料 4 令和 6 年度の事業計画（長崎）
- 資料 5 入館者からの感想や意見・要望等（広島）
- 資料 6 入館者からの感想や意見・要望等（長崎）

## 令和5年度の事業実施状況

広島祈念館 1頁～10頁



## 令和5年度 国立広島原爆死没者追悼平和祈念館の事業実施状況

### 1. 入館者状況

開館（平成14年8月）以来、令和6年3月末までの入館者数は、5,307,831人となっており、同期間の平和記念資料館入館者（27,993,755人）の19.0%である。【過去3年間の月ごとの入館者数を9ページに記載】

（参考）年度別入館者数

| 区分    | 入館者数       | 1日平均入館者数 | 対前年比   | 外国人 <sup>(注)</sup> (内数) |        |
|-------|------------|----------|--------|-------------------------|--------|
|       |            |          |        | 入館者数                    | 対前年比   |
| 令和3年度 | 62,058人    | 297人     | 89.4%  | 3,672人                  | 87.5%  |
| 令和4年度 | 188,170人   | 518人     | 303.2% | 31,941人                 | 869.9% |
| 令和5年度 | 395,372人   | 1,095人   | 210.1% | 142,073人                | 444.8% |
| 累計    | 5,307,831人 | —        | —      | —                       | —      |

(注)外国人入館者数とは、総合案内において外国語版のリーフレット又はチラシを配布した人数を集計している（平成24年度から集計開始）。

### 2. 原爆死没者の氏名・遺影の登録・公開

広島県内各市町での葬祭料給付申請時や、平和記念式典への参列案内時に遺影登録の案内をするほか、8月6日に原爆死没者名簿への登載確認等との共同窓口を設置している。

また、被爆者証言ビデオの収録や被爆体験記執筆補助事業などの機会をとらえ、登録申請を呼びかけた。さらに、遺影登録に際し、マスコミに情報提供するなど遺影登録の周知を図った。

この他、令和5年度は、関東4都県と愛知県の被爆者対策担当課へ出向き、直接、遺影登録等についての案内を依頼した。

（参考）年度別登録状況

| 区分    | 原爆死没者数（登録数） | 対前年比   |
|-------|-------------|--------|
| 令和3年度 | 753人        | 115.8% |
| 令和4年度 | 1,005人      | 133.5% |
| 令和5年度 | 1,124人      | 111.8% |
| 累計    | 27,321人     | —      |

### 3. 被爆体験記等の収集・整理・公開

各都道府県の窓口にて体験記等の収集を周知するチラシを配布したほか、被爆者証言ビデオ収録などの機会をとらえて被爆体験記の提供を呼びかけるとともに、体験記執筆補助事業（平成 18 年度開始）により収集に努めた。また、新聞等に掲載された被爆体験記の記事を確認し、発行者等へ照会して、寄贈又は購入の依頼を行った。

収集した被爆体験記については、より一層の活用を図るため、データベース化、イメージデータ化及びテキストデータ化を推進し来館者の利便性の向上を行った。

（参考）年度別被爆体験記収集状況

| 区分    | 体験記収集数（編） |         |         |       |         | 図書収集（冊） |       | 公開数 <sup>(注1)</sup><br>（編） |
|-------|-----------|---------|---------|-------|---------|---------|-------|----------------------------|
|       | H7 厚生省    | H17 厚労省 | H27 厚労省 | 独自収集  | 計       | 購入      | 寄贈    |                            |
| 令和3年度 | ▲1        | 0       | ▲2      | 51    | 48      | 154     | 72    | 686                        |
| 令和4年度 | ▲1        | 0       | ▲2      | 68    | 65      | 162     | 93    | 531                        |
| 令和5年度 | 0         | 0       | 8       | 91    | 99      | 148     | 61    | 782                        |
| 累計    | 81,203    | 11,778  | 11,339  | 3,647 | 107,967 | 2,591   | 3,416 | 149,044                    |

（注1）被爆体験記として収集後、内容を整理・精査し登録対象外とする場合があり、また収集年度と公開年度が異なる場合があるため、各年度の収集数と公開数は一致しない。

（参考）被爆体験記のデータベース化等の進捗状況

| 区分                       | 編数      |
|--------------------------|---------|
| 館内公開体験記数                 | 149,044 |
| データベース化 <sup>(注2)</sup>  | 146,193 |
| イメージデータ化 <sup>(注3)</sup> | 107,902 |
| テキストデータ化 <sup>(注4)</sup> | 3,618   |

（注2）データベース化とは、来館者が閲覧を希望する被爆体験記を容易に検索できるよう、被爆体験記に書かれている情報に基づき、被爆者の氏名、年齢、所属及び被爆場所、登場する人物、場所及び時期などを、職員が分類・整理し、システムに登録する作業をいう。

（注3）イメージデータ化とは、館内公開している被爆体験記を、展示端末画面で容易に閲覧できるよう、被爆体験記をスキャンしてシステムに登録することをいう（平成 24 年度から実施）。

（注4）テキストデータ化とは、被爆者が書いた被爆体験記を読みやすく、また、将来、多種多様なキーワードにより検索が可能となるよう、被爆体験記を文字入力する作業をいう（平成 24 年度から本格的に実施）。

### 4. 企画展の開催

企画展示室（地下1階）において、下記のテーマに沿った企画展を開催した。関連資料を展示し、被爆体験記をディスプレイで閲覧できるようにするとともに、被爆者の証言映像及び被爆者自身が描いた「原爆の絵」等を交えた映像作品を制作し上映した。

なお、これらの映像資料についてはインターネットに掲載するとともに、平和学習資料

としてDVDや資料の貸出を行っている。

(1) テーマ「空白の天気図 ―気象台員たちのヒロシマー―」

- ・期 間：令和5年3月15日(水)～令和6年2月29日(木)
- ・内 容：原爆は、爆心地から約3.7km離れた広島地方気象台にも多大なる被害をもたらした。そうした状況下でも気象台員たちは、決死の覚悟で任務に挑んだ。また、被爆後わずか1か月で広島を襲った枕崎台風は、原爆被害を一層深刻なものにした。台員たちはこの二重の被害を後世に伝えようと、詳細な聞き取り調査を行い、調査報告書にまとめた。今回の企画展では、観測者の視点で記録された被爆体験記をもとに被爆の実相を明らかにする。(シアター映像の上映及び気象観測器等を展示)



(2) テーマ「暁部隊 劫火へ向カヘリ ―特攻少年兵たちのヒロシマー―」

- ・期 間：令和6年3月1日(金)～令和7年2月28日(金)
- ・内 容：太平洋戦争末期、陸軍の特別幹部候補生として集められた少年兵たちは、ひとり乗りのベニヤ製モーターボートで敵艦を撃沈させる特攻訓練を江田島で続けていた。しかし、死を覚悟していた彼らを待ち受けていたのは特攻ではなく原爆投下だった。救護へ急行した彼らが死の街広島で何を見て、何を感じたのか。彼らの心情に迫る。(シアター映像の上映及び暁部隊関連資料等を展示)



## 5. 被爆体験記執筆補助

体験記を残す意欲がありながら高齢等により体験記の執筆が困難な広島県内の被爆者を対象に、職員による聞き取りと代筆を行った。(平成18年度開始)

(参考) 年度別実施状況

| 区分    | 応募数  | 実施者数 | 辞退数<br>(体調不良等) |
|-------|------|------|----------------|
| 令和3年度 | 10人  | 9人   | 1人             |
| 令和4年度 | 10人  | 8人   | 2人             |
| 令和5年度 | 12人  | 11人  | 1人             |
| 累計    | 217人 | 188人 | 29人            |



被爆当時の地図などを見ながら被爆体験を聞き取りします

## 6. 被爆者証言ビデオ制作

被爆者団体等から推薦された広島県外在住の被爆者を対象に、長崎祈念館と協力(長崎被爆者については長崎祈念館が収録・編集を担当)し、その体験談をビデオに収録(令和5年9月～12月)し、編集作業を行った。制作した証言ビデオについては、令和6年6月頃から館内の体験記閲覧室で公開する。



カメラを前に被爆体験を語っていただきます

(参考) 年度別制作状況

| 区分    | 実施人数 | 収録都道府県                                   |
|-------|------|--|
| 令和3年度 | 21人  | 山口1人、鳥取3人、愛媛4人、岡山5人、大阪1人、千葉3人、東京4人       |
| 令和4年度 | 13人  | 東京6人、神奈川2人、大阪3人、福岡2人                     |
| 令和5年度 | 14人  | 青森1人、東京4人、埼玉1人、神奈川2人、愛知1人、島根1人、福岡3人、熊本1人 |
| 累計    | 432人 | 45都道府県で収録(広島県及び長崎県を除く。)                  |

また、国外在住の被爆者証言ビデオの制作については、在外被爆者の減少による被爆者団体等の現地での活動縮小を理由に、収録対象者の確保・調整が困難であったことから、制作できなかった。

(参考) 年度別制作状況

| 区分    | 実施人数         | 国・地域  |
|-------|--------------|---|
| 令和3年度 | -            | 実施していない   |
| 令和4年度 | -            | 実施していない   |
| 令和5年度 | -            | 実施していない   |
| 累計    | 67人<br>(68本) | 韓国(34人)、台湾(4人)、アメリカ(18人)、アルゼンチン(1人)、オーストラリア(1人)、カナダ(2人(うち1人は日本語、英語で2本収録))、ブラジル(5人)、メキシコ(2人) |

## 7. 多言語化対応事業

海外から来館するさまざまな国や地域の人に、被爆の実相を母国語で伝えるため、令和5年度は被爆者証言ビデオの証言内容をアラビア語、スウェーデン語、ドイツ語、ハンガリー語、ヒンディー語、ポーランド語、マレー語、ロシア語の8言語に翻訳した。

また、被爆体験記を英語、中国語、韓国・朝鮮語の3言語に翻訳した。(証言ビデオの字幕及び体験記の翻訳言語数は24言語)

(多言語化の詳細を10ページに記載)

## 8. 被爆体験記の朗読事業

収集した被爆体験記を活用し、戦争や原爆の恐ろしさ、平和の大切さを語り継ぐことを目的に平成17年度から実施している。修学旅行生や市内の学校などを対象とした朗読会、毎月第3日曜日(日本語)、第2日曜日、第3火曜日、第4金曜日(英語)に開催する定期朗読会、5月3日～5日、8月5日、6日のビクターズ朗読会、市内近郊への出前朗読会も開催した。

また、全国で朗読会を開催したいとの要望に応えるため、朗読セットを国内6団体へ貸し出した。



祈念館内での朗読会

(参考) 年度別開催状況

(単位：回)

| 区分    | 定期 | 集中開催<br>5/3-5, 8/5-6 | 広島市内 | 原爆展           | 英語朗読<br>(英語定期含む) | 計   |
|-------|----|----------------------|------|---------------|------------------|-----|
| 令和3年度 | 12 | 13                   | 34   | 開催なし          | 2                | 61  |
| 令和4年度 | 24 | 15                   | 60   | 開催なし          | 13               | 112 |
| 令和5年度 | 22 | 18                   | 59   | 海外1都市<br>(4回) | 46               | 149 |



## 9. 被爆体験伝承者等の派遣

被爆の実相、平和への想いを日本全国の次世代に語り継ぐため、「被爆体験証言者」、「被爆体験伝承者」及び「被爆体験記朗読ボランティア」を、国内の学校等へ無料で派遣し、被爆体験証言講話、被爆体験伝承講話及び被爆体験記朗読会を実施した。令和5年度からは、「家族伝承者」及び「原爆体験伝承者（国立市が養成）」の派遣も開始した。

令和5年度は、全国に543件（証言講話22件、伝承講話484件、朗読会37件）の派遣を行い、延べ約7万4千人の児童・生徒等が聴講した。

（参考）地域別派遣件数 （単位：件）

| 区分 | 北海道 | 東北 | 関東  | 中部 | 近畿  | 中国 | 四国 | 九州 | 計   |
|----|-----|----|-----|----|-----|----|----|----|-----|
| 件数 | 12  | 20 | 127 | 63 | 228 | 57 | 14 | 22 | 543 |

（参考）申込団体別派遣件数及び聴講者数 （単位：件・人）

| 区分   | 小学校    | 中学校    | 高等学校   | 自治体   | その他   | 計      |
|------|--------|--------|--------|-------|-------|--------|
| 件数   | 247    | 121    | 82     | 62    | 31    | 543    |
| 聴講者数 | 23,324 | 22,988 | 16,940 | 8,892 | 2,500 | 74,644 |

また、イギリスのダラム市に朗読ボランティア（2人）を派遣し、被爆体験記朗読会を通じて海外の人々と核兵器の恐怖や非人道性の認識について共有を図った。

- ・被爆体験記朗読会 4回 269人参加

## 10. 被爆体験伝承者等に対する語学等の研修

上記9の被爆体験伝承者等の海外派遣において、被爆の実相を正確に伝えることができるよう語学力の向上を図るため研修を実施した。

- ・被爆体験朗読ボランティア 2回

## 11. 修学講習の実施

被爆体験の次の世代への継承と平和意識の高揚を図るため、修学旅行などで広島を訪れた児童・生徒等を対象に、被爆者による被爆体験講話等を内容とする講習を追悼平和祈念館研修室で行った。

（参考）令和5年度実施状況 （単位：件・人）

| 区分            | 小学校   | 中学校   | 高等学校 | その他   | 計      |
|---------------|-------|-------|------|-------|--------|
| 件数            | 188   | 60    | 30   | 283   | 561    |
| 聴講者数          | 5,389 | 1,528 | 853  | 4,541 | 12,311 |
| 1団体あたりの平均聴講者数 | 28.7  | 25.5  | 28.4 | 16.0  | 21.9   |

## 12. 平和学習講習会でのPR

平和学習を目的として多くの修学旅行生に来館してもらうため、広島市主催の平和学習講習会において、学校関係者及び旅行会社等に対し、被爆体験継承など祈念館で実施している平和学習の紹介を行った。

(参考) 年度別開催状況

| 区分    | 開催都市    |           | 参加者  |
|-------|---------|-----------|------|
| 令和3年度 | オンライン   | 令和4年8月16日 | 114人 |
| 令和4年度 | オンライン   | 令和4年8月18日 | 199人 |
|       | 大阪府大阪市  | 令和5年1月27日 | 34人  |
| 令和5年度 | オンライン   | 令和5年8月8日  | 128人 |
|       | 神奈川県横浜市 | 令和5年8月25日 | 29人  |

## 13. インターネットによる情報提供

当館の事業内容を、ホームページ <https://www.hiro-tsuitokinenkan.go.jp/> で広く情報提供するとともに、外部提供について同意の得られた被爆体験記及び被爆者証言ビデオを、順次、平和情報ネットワーク <http://www.global-peace.go.jp/> に掲載し情報発信した。

(参考) ホームページアクセス件数

| 区分    | 祈念館ホームページ | 平和情報ネットワーク |
|-------|-----------|------------|
| 令和3年度 | 623,182   | 5,360,976  |
| 令和4年度 | 727,274   | 6,847,635  |
| 令和5年度 | 798,235   | 18,905,309 |

※ 平和情報ネットワークは、広島・長崎両館が合同で運営している。

## 14. 情報展示システムの保守・管理および機器更改

来館者へのサービス向上及びシステムの安全性・信頼性を確保するため、情報展示システムの保守・管理を行った。

また、館内で使用している全機器の更改を行い、それに伴うシステム改修も行った。

## 15. 来館者増加対策等

広報紙、ホームページや新聞等を通じて情報発信に努めたほか、企画展の案内看板を屋外に掲出する等、あらゆる機会を捉え、PRに努めた。

## 16. 新型コロナウイルスの感染拡大防止に向けた取り組み

令和5年5月8日に新型コロナウイルス感染症の位置付けが5類感染症になったことから、次の対応に変更した。

| 変更前   | 変更後   |
|---|---|
| <ul style="list-style-type: none"><li>・南側出入口を入口専用、北側を出口専用とし、一方通行の動線とした。</li><li>・入館の際、検温、手指消毒を実施した。</li></ul> | <ul style="list-style-type: none"><li>・一方通行の動線を廃止し、出入口を南側、北側の2箇所とした。</li><li>・入館の際、手指消毒を実施した。</li></ul> |

国立広島原爆死没者追悼平和祈念館の入館者数について（平和記念資料館との比較）

令和2年度

| 区分    | 祈念館       | 資料館        | 割合    | 祈念館<br>対前年度比 |
|-------|-----------|------------|-------|--------------|
| R2 4月 | 0         | 0          | 0.0%  | 0.0%         |
| 5月    | 0         | 0          | 0.0%  | 0.0%         |
| 6月    | 1,636     | 9,314      | 17.6% | 5.0%         |
| 7月    | 3,920     | 19,797     | 19.8% | 13.2%        |
| 8月    | 7,244     | 40,427     | 17.9% | 16.7%        |
| 9月    | 10,153    | 38,362     | 26.5% | 28.0%        |
| 10月   | 11,448    | 66,339     | 17.3% | 24.7%        |
| 11月   | 19,486    | 85,199     | 22.9% | 51.8%        |
| 12月   | 5,162     | 27,462     | 18.8% | 26.2%        |
| R3 1月 | 0         | 404        | 0.0%  | 0.0%         |
| 2月    | 2,962     | 7,037      | 42.1% | 19.6%        |
| 3月    | 7,402     | 34,249     | 21.6% | —            |
| 合計    | 69,413    | 328,590    | 21.1% | 18.3%        |
| 累計    | 4,662,231 | 24,479,605 | 19.0% | —            |

令和3年度

| 区分    | 祈念館       | 資料館        | 割合       | 祈念館<br>対前年度比 |
|-------|-----------|------------|----------|--------------|
| R3 4月 | 5,054     | 20,158     | 0.0%     | #DIV/0!%     |
| 5月    | 2,294     | 15,337     | 0.0%     | #DIV/0!%     |
| 6月    | 1,455     | 6,615      | 22.0%    | 88.9%        |
| 7月    | 6,603     | 39,644     | 16.7%    | 168.4%       |
| 8月    | 1,948     | 9,643      | 20.2%    | 26.9%        |
| 9月    | 0         | 0          | #DIV/0!% | 0.0%         |
| 10月   | 9,637     | 67,337     | 14.3%    | 84.2%        |
| 11月   | 15,037    | 107,564    | 14.0%    | 77.2%        |
| 12月   | 9,719     | 77,496     | 12.5%    | 188.3%       |
| R4 1月 | 2,311     | 16,864     | 13.7%    | #DIV/0!%     |
| 2月    | 0         | 0          | #DIV/0!% | 0.0%         |
| 3月    | 8,000     | 45,329     | 17.6%    | —            |
| 合計    | 62,058    | 405,987    | 15.3%    | 89.4%        |
| 累計    | 4,724,289 | 24,885,592 | 19.0%    | —            |

令和4年度

| 区分    | 祈念館       | 資料館        | 割合    | 祈念館<br>対前年度比 |
|-------|-----------|------------|-------|--------------|
| R4 4月 | 8,758     | 46,981     | 18.6% | 173.3%       |
| 5月    | 14,286    | 100,452    | 14.2% | 622.8%       |
| 6月    | 12,123    | 73,041     | 16.6% | 833.2%       |
| 7月    | 10,508    | 59,685     | 17.6% | 159.1%       |
| 8月    | 19,521    | 113,685    | 17.2% | 1,002.1%     |
| 9月    | 13,600    | 82,772     | 16.4% | #DIV/0!%     |
| 10月   | 18,280    | 130,893    | 14.0% | 189.7%       |
| 11月   | 21,696    | 148,349    | 14.6% | 144.3%       |
| 12月   | 14,636    | 91,951     | 15.9% | 150.6%       |
| R5 1月 | 13,087    | 61,322     | 21.3% | 566.3%       |
| 2月    | 14,042    | 67,951     | 20.7% | #DIV/0!%     |
| 3月    | 27,633    | 149,299    | 18.5% | 345.4%       |
| 合計    | 188,170   | 1,126,381  | 16.7% | 303.2%       |
| 累計    | 4,912,459 | 26,011,973 | 18.9% | —            |

令和5年度

| 区分    | 祈念館       | 資料館        | 割合    | 祈念館<br>対前年度比 | 資料館<br>対前年度比 |
|-------|-----------|------------|-------|--------------|--------------|
| R5 4月 | 30,218    | 162,802    | 18.6% | 345.0%       | 346.5%       |
| 5月    | 29,142    | 174,513    | 16.7% | 204.0%       | 173.7%       |
| 6月    | 31,749    | 169,049    | 18.8% | 261.9%       | 231.4%       |
| 7月    | 28,799    | 149,828    | 19.2% | 274.1%       | 251%         |
| 8月    | 42,590    | 200,400    | 21.3% | 218.2%       | 176.3%       |
| 9月    | 34,688    | 176,535    | 19.6% | 255.1%       | 213.3%       |
| 10月   | 49,495    | 237,858    | 20.8% | 270.8%       | 181.7%       |
| 11月   | 43,864    | 216,283    | 20.3% | 202.2%       | 145.8%       |
| 12月   | 21,574    | 120,586    | 17.9% | 147.4%       | 131.1%       |
| R6 1月 | 19,196    | 85,443     | 22.5% | 146.7%       | 139.3%       |
| 2月    | 23,527    | 88,504     | 26.6% | 167.5%       | 130.2%       |
| 3月    | 40,530    | 199,981    | 20.3% | 146.7%       | 133.9%       |
| 合計    | 395,372   | 1,981,782  | 20.0% | 210.1%       | 123.6%       |
| 累計    | 5,307,831 | 27,993,755 | 19.0% | —            | —            |

## 7. 多言語化対応

| 区分 | 被爆体験記       |                              | 証言ビデオ     |                              |              |                              | リーフレット<br>翻訳言語状況 |
|----|-------------|------------------------------|-----------|------------------------------|--------------|------------------------------|------------------|
|    | 翻訳編数 (A)    | (A)のうち<br>R5年度新規<br>追加(作成)編数 | 字幕付本数 (B) | (B)のうち<br>R5年度新規<br>追加(作成)本数 | 吹替え本数<br>(C) | (C)のうち<br>R5年度新規<br>追加(作成)本数 |                  |
| 1  | 英語          | 471                          | 18        | 810                          |              | 105                          | ○                |
| 2  | 中国語         | 389                          | 18        | 164                          |              | 105                          | ○                |
| 3  | 韓国・朝鮮語      | 388                          | 18        | 163                          |              | 105                          | ○                |
| 4  | アラビア語       | 9                            |           | 11                           | 1            |                              | ○                |
| 5  | イタリア語       | 9                            |           | 11                           |              |                              | ○                |
| 6  | インドネシア語     | 9                            |           | 5                            |              |                              | ○                |
| 7  | ウルドゥー語      | 9                            |           | 5                            |              |                              | ○                |
| 8  | オランダ語       | 9                            |           | 5                            |              |                              | ○                |
| 9  | ギリシャ語       | 9                            |           |                              |              |                              |                  |
| 10 | クロアチア語      |                              |           | 4                            |              |                              |                  |
| 11 | スウェーデン語     | 9                            |           | 5                            | 2            |                              | ○                |
| 12 | スペイン語       | 9                            |           | 15                           |              |                              | ○                |
| 13 | スロベニア語      |                              |           | 6                            |              |                              |                  |
| 14 | タイ語         | 9                            |           | 5                            |              |                              | ○                |
| 15 | ドイツ語        | 9                            |           | 40                           | 1            |                              | ○                |
| 16 | ノルウェー語      | 9                            |           |                              |              |                              |                  |
| 17 | ハンガリー語      |                              |           | 12                           | 1            |                              |                  |
| 18 | ヒンディー語      | 9                            |           | 9                            | 1            |                              | ○                |
| 19 | フィリピン語      | 9                            |           | 5                            |              |                              | ○                |
| 20 | フィンランド語     | 9                            |           |                              |              |                              |                  |
| 21 | フランス語       | 9                            |           | 31                           |              |                              | ○                |
| 22 | ヘブライ語       | 9                            |           | 5                            |              |                              | ○                |
| 23 | ベトナム語       | 9                            |           | 5                            |              |                              | ○                |
| 24 | ポーランド語      | 9                            |           | 9                            | 1            |                              | ○                |
| 25 | ポルトガル語      | 9                            |           | 11                           |              |                              | ○                |
| 26 | マレー語        | 9                            |           | 5                            | 2            |                              | ○                |
| 27 | ロシア語        | 9                            |           | 12                           | 3            |                              | ○                |
|    | 合計編・本数 (作成) | 1,437                        | 54        | 1,353                        | 12           | 315                          | 0                |
|    | 合計言語数 (作成)  | 24                           | 3         | 24                           | 8            | 3                            | 0                |
|    |             |                              |           |                              |              |                              | 21               |

※1 上記以外にも平成29年度は、海外原爆展への協力事業として字幕付き証言ビデオ【ハンガリー語（1本）及びモンテネグロ語（1本）】を製作した。  
しかし館内システムやグローバルネットワークでの公開は行っていないため、合計編・本数及び合計言語数から除いている（2024年3月末日現在）

## 令和5年度の事業実施状況

長崎祈念館 1頁～15頁



## 令和5年度 国立長崎原爆死没者追悼平和祈念館の事業実施状況

### 1. 入館者状況

開館（平成15年7月）以降、令和6年3月末までの入館者数は、2,175,583人（一日平均298人）となっており、同期間の長崎原爆資料館入館者数（13,454,165人）の16.2%である。

【過去3年間の月ごとの入館者数を15ページに記載】

（参考）年度別入館者数

| 年 度                | 入館者数（1日平均）      | 対前年比   | 外国人（内数） |        |
|--------------------|-----------------|--------|---------|--------|
|                    |                 |        | 入館者数    | 対前年度比  |
| 令和3年度 <sup>注</sup> | 60,600人（250人）   | 104.6% | 9,575人  | 101.4% |
| 令和4年度 <sup>注</sup> | 95,260人（360人）   | 157.2% | 28,197人 | 294.5% |
| 令和5年度 <sup>注</sup> | 118,562人（326人）  | 124.5% | 51,693人 | 183.3% |
| 累計                 | 2,175,58人（298人） | —      |         |        |

（注）令和3年度は、令和3年4月1日～27日、6月8日～8月9日、9月13日～令和4年1月20日、3月7日～3月31日の入館者数

令和4年度は、台風14号による臨時休館の9月18日～19日を除いた期間の入館者数

令和5年度は、台風6号接近に伴い8月9日15時～20時に臨時休館した時間を除く入館者数

※ 外国人入館者数とは、館内において外国語版のリーフレットを配布した人数を集計している（平成30年度から集計開始）。

### 2. 原爆死没者の氏名・遺影の登録・公開

原爆死没者を追悼し、被爆の実相を後世に伝えていくために、氏名・写真（遺影）を募集し、情報システム登録のうえ館内公開している。長崎県市をはじめ全国の原爆対策担当部署、マスコミ等を通じての周知により、遺族等から、登録を受け付ける。被爆者証言映像制作等の他事業の施行に併せて被爆者団体等への周知を強化し収集増に努めている。

（参考）年度別登録状況

| 年 度   | 登録された原爆死没者数 | 対前年比   |
|-------|-------------|--------|
| 令和3年度 | 305人        | 131.5% |
| 令和4年度 | 334人        | 109.5% |
| 令和5年度 | 303人        | 90.7%  |
| 累計    | 10,872人     | —      |



### 3. 被爆体験記等の収集・整理・公開

被爆の実相を後世に伝えていくために、被爆手記・体験記を収集し、情報システム登録やデータ化等の整理のうえ館内のほか「グローバルネット」等で公開している。マスコミ等を通じての周知、募集により、本人や遺族等から寄贈を受けるとともに、高齢等で執筆困難な場合は執筆補助を行なう。被爆者証言映像制作等の他事業の施行に併せて被爆者団体等への周知を強化し収集増に努めている。

(参考) 年度別被爆体験記収集状況

| 年 度   | 体験記収集 | 対前年比   |
|-------|-------|--------|
| 令和3年度 | 36人分  | 75.0%  |
| 令和4年度 | 69人分  | 191.7% |
| 令和5年度 | 79人分  | 114.5% |
| 累 計   | 665人分 | —      |

### 4. 企画展の開催

テーマを定め、祈念館が所蔵する被爆体験記等を選定し、英語に翻訳を行い、広い空間でゆっくりと閲覧できるように交流ラウンジにて実施した。

第13回体験記企画展「LIFE AFTER NUCLEAR WAR」

期間：令和5年10月22日～令和5年11月1日

令和5年11月7日～令和5年11月18日

概要：スーザン・サザード氏の著書

「ナガサキ 核戦争後の人生」で描かれた被爆者5人の被爆体験やその後の人生に焦点をあてた展示を行った。

あわせて、5人の被爆体験を語る様子を収めた証言ビデオも上映した。



企画展の様子（交流ラウンジ）

### 5. 被爆体験記執筆補助

体験記を残す意欲を持ちながらその執筆が困難な被爆者を対象として聞き取りと代筆を行った。（平成17年度開始）

令和4年度に引き続き、長崎県と長崎市の協力を得て、長崎県内の被爆者へ直接協力をよびかけた。今後も自治体などと協力し、収集に努めていきたい。

(参考) 年度別収集状況

| 年 度            | 収集数  |
|----------------|------|
| 令和3年度          | 21人  |
| 令和4年度          | 64人  |
| 令和5年度          | 26人  |
| 累 計 (平成17年度から) | 192人 |



執筆補助の様子 (祈念館内)

## 6. 被爆者証言ビデオ制作

被爆の実相を後世に伝えていくために、地元放送局等に業務委託して、被爆体験に係る証言ビデオを制作・収集し、情報システム登録のうえ館内のほか「グローバルネット」等で公開している。被爆者団体等の協力・紹介を得て、制作・収集の増に努めている。

(参考) 年度別制作・収集状況

### (1) 国内

| 年 度   | 収録数  | 収録都道府県   |
|-------|------|--|
| 令和3年度 | 7人   | 東京 (1人)、福岡 (1人)、長崎 (5人)  |
| 令和4年度 | 22人  | 東京 (3人)、神奈川 (3人)、愛知 (1人)、大阪 (2人)、福岡 (3人)、長崎 (10人)                |
| 令和5年度 | 22人  | 福岡 (1人)、青森 (3人)、神奈川 (1人)、愛知 (2人)、東京 (3人)、熊本 (3人)、埼玉 (4人)、長崎 (5人) |
| 累計    | 465人 |  |

### (2) 海外

| 年 度   | 収録数 | 収録都道府県              |
|-------|-----|---------------------|
| 令和3年度 | 3人  | アメリカ (1人)、ブラジル (2人) |
| 令和4年度 | 2人  | アメリカ (1人)、ブラジル (1人) |
| 令和5年度 | 3人  | 韓国 (2人)、ブラジル (1人)   |
| 累計    | 79人 |                     |

## 7. 多言語化対応事業

当館外国語ネイティブスタッフにより、英語、韓国・朝鮮語、中国語を中心に被爆体験記、証言ビデオ等収集資料の翻訳や吹替えを行い、簡易製本化や情報システムへの登録のうえ、館内での公開のほか、「グローバルネット」等で広く世界に発信・紹介している。

(参考) 年度別翻訳状況【体験記】

| 年度    | 翻訳数 (編) |        |     |     |     |
|-------|---------|--------|-----|-----|-----|
|       | 英語      | 韓国・朝鮮語 | 中国語 | その他 | 合計  |
| 令和3年度 | 4       | 4      | 4   | 0   | 12  |
| 令和4年度 | 7       | 23     | 23  | 0   | 53  |
| 令和5年度 | 7       | 12     | 15  | 0   | 34  |
| 累計    | 187     | 208    | 211 | 44  | 650 |

※「その他」フランス語7編、ドイツ語4編、イタリア語3編、スペイン語5編、ポルトガル語3編、ロシア語6編、ベンガル語1編、カザフ語1編、マレー語2編、アラビア語2編、ベトナム語3編、ハンガリー語2編、モンテネグロ語2編、オランダ語2編、ヒンドゥ語1編

【被爆者証言ビデオ】 ※ ( ) 内数は字幕数

| 年度    | 翻訳吹替え・字幕数 (編) |        |        |        |          |
|-------|---------------|--------|--------|--------|----------|
|       | 英語            | 韓国・朝鮮語 | 中国語    | その他    | 合計       |
| 令和3年度 | 3(3)          | 3(3)   | 3(3)   | 0      | 9(9)     |
| 令和4年度 | 0             | 0      | 0      | 0      | 0        |
| 令和5年度 | 5(5)          | 5(5)   | 5(5)   | 0      | 15(15)   |
| 累計    | 61(29)        | 61(29) | 61(29) | 36(18) | 219(105) |

※「その他」オランダ語5編、ロシア語8編、フランス語8編、ドイツ語8編、アラビア語3編、ベトナム語2編、ポルトガル語2編

令和4年度は過去の証言ビデオの見直しを行い、英語3編、中国語21編、韓国語22編の字幕を修正した。

## 8. 被爆体験記の朗読事業

被爆者が高齢化し、被爆者の声を直接聴くことが難しくなっていく中、被爆体験を継承していくあらたな方策の一つとして平成23年度から事業を開始した。収集した体験記を有効に活用していくという側面を有し、朗読ボランティア育成と朗読ボランティアの派遣を柱とする。平成24年度と平成25年度の2年間で朗読ボランティア育成講座を実施・完了した。講座修了者のボランティア登録を受け、平成26年度から祈念館内での定期朗読会の開催、市内・近隣の小中学校等への派遣朗読会の実施等、本格的に活動を行い、さらに朗読ボランティア「永遠の会」を結成し、平成27年度は「永遠の会」を組織化。世話人会を結成し、代表、副代表を選出。事務局と連携しながら、自主的な運営のもと活動を広げている。平成30年度には、第2期生育成講座を実施・完了した。

令和5年度は館内での常駐朗読は、地下1階追悼コーナーで、「9日を忘れない」朗読会は原爆資料館いこいの広場で開催した。また、追悼平和祈念館開館20周年を記念し、

長崎県音楽連盟協力のもと、「朗読と音楽の調べ」と題し、12月から3月まで3回にわたって開催した。

また、令和5年度は市内の小学校2校、中学校1校に朗読指導を行うとともに、若者の参画のために令和4年度より募集しているU-25によるMC、朗読も開始した。

(参考) 年度別開催状況【メンバー構成(令和6年3月末)68人(女性61人、男性7人) ※U-25含む】

| 年 度   | 常駐朗読 | 定期朗読会<br>(9日を忘れない) | 国内朗読派遣      | その他(朗読劇など) |
|-------|------|--------------------|-------------|------------|
| 令和3年度 | 48日  | 5回(5回)             | 31回(学校・団体他) | 2回(意見交換会)  |
| 令和4年度 | 89日  | 14回(12回)           | 36回(学校・団体他) | 4校(朗読指導)   |
| 令和5年度 | 115日 | 14回(11回)           | 53回(学校・団体他) | 3校(朗読指導)   |

〈活動の様子〉



常駐朗読  
(3/9 追悼コーナー)



朗読会「9日を忘れない」  
(12/9 原爆資料館いこいの広場)



「朗読と音楽の調べ」  
(2/3 交流ラウンジ)

## 9. 家族・交流証言者等の派遣

被爆の実相、平和への想いを次世代に語り継ぐため、平成30年度から「家族・交流証言者」及び「被爆体験記朗読ボランティア」を全国の学校等へ無料で派遣し、家族・交流証言講話及び被爆体験記朗読会を開催した。また、令和5年度からは、東京都国立市が養成した「原爆体験伝承者」の派遣も開始した。国内外の数多くの児童、生徒、一般市民が聴講した。

令和5年度は、5月にコロナウイルス感染症の感染症法上の位置付けが「5類感染症」に変更されたため派遣件数が増加した。

(参考) 年度別実施状況【長崎市外派遣】

| 年度         | 全件数  | 長崎市外  |      |      |     |          |
|------------|------|-------|------|------|-----|----------|
|            |      | 家族・交流 | 朗読会  | 体験講話 | 国立市 | 聴講者数     |
| 令和3年度      | 94件  | 57件   | 25件  | 12件  |     | 21,611人  |
| 令和4年度      | 145件 | 100件  | 23件  | 22件  |     | 22,412人  |
| 令和5年度      | 173件 | 105件  | 37件  | 22件  | 9件  | 28,919人  |
| 累計(H30年度～) | 747件 | 471件  | 210件 | 57件  | 9件  | 137,433人 |

## 〈派遣の様子〉



家族・交流証言講話  
(84 大分県九重町立飯田小学校)



被爆体験記朗読会  
(8/29 福知山市人権推進室)



被爆体験講話  
(7/19 茨城県神栖市立波崎第二中学校)



原爆体験伝承講話  
(6/9 東京都日野市立日野第一小学校)

## 【海外派遣】

| 年度    | 場所                     | 期間         | 件数               | 聴講者数 |
|-------|------------------------|------------|------------------|------|
| 令和3年度 | スペイン日本人学校<br>(オンライン講話) | 2月17日      | 1件<br>※被爆体験講話 1件 | 41人  |
| 令和4年度 | 実施無し                   |            |                  |      |
| 令和5年度 | アメリカ                   | 11/8～11/17 | 7件<br>※被爆体験講話 7件 | 445人 |
| 累計    |                        |            | 23件              | 765人 |

## 10. 家族・交流証言者等に対する語学等の研修

来日外国人に対して、また国外においても講話や朗読が行えるようスキルアップを図るため、被爆体験の家族・交流証言者及び被爆体験記朗読ボランティアについて、語学等の研修を実施した。令和3年度、令和4年度は新型コロナウイルス感染拡大防止のため、オンラインによる研修及び少人数での対面による研修を実施したが、令和5年度は対面によるブラッシュアップ研修を実施した。

(参考) 家族・交流証言者語学育成研修 ※対面によるマンツーマン指導

- ・受講者 7人
- ・実施内容 令和6年2月～令和6年3月 毎週1回 計4回実施
- ・終了後は英語講話を実施 令和6年3月25日、29日

被爆体験記朗読ボランティア語学育成研修

【初級者向けブラッシュアップレッスン】

※少人数グループによる朗読指導

- ・受講者 12人
- ・実施内容 令和6年2月～令和6年3月 週1回 計8回実施

## 11. 修学講習（被爆体験講話）の実施

原爆の被害の実相を広く国の内外に伝え、永く後代まで語り継ぐという当館の理念を

実現するため、修学旅行生などの団体に会場として「研究室」を提供し、平和学習のために被爆体験講話を実施している。

(参考) 年度別実施状況

| 年度           | 回数     | 利用者数    |
|--------------|--------|---------|
| 令和3年度        | 81回    | 2,680人  |
| 令和4年度        | 157回   | 3,969人  |
| 令和5年度        | 96回    | 2,281人  |
| 累計(平成20年度から) | 1,947回 | 50,201人 |

※ 会場収容人数は最大40人。講話前後には追悼空間での平和集会を実施する学校も増えている。

## 12. 情報展示システムの保守・管理

来館者へのサービス向上及びシステムの安全性・信頼性を確保するため、情報展示システムの保守・管理を行った。

また、令和5年7月にシステム機器の更改を実施し、被爆者・遺族などの当事者世代の高齢化や来館者の多様化により起因する情報提供のあり方の変化に対応したより利用者視点に立った展示の見直し、併せて、新ハードウェア構成での現システムへの影響などを考慮し、より活用しやすいシステムへの改修を行った。

さらに、開館20周年の取り組みのひとつとして、来館者からの要望を受け、追悼空間前室にて死没者検索ができるように改修を行った。

## 13. 被ばく医療関連情報の収集・整理・提供

長崎大学大学院医歯薬学総合研究科(原爆後障害医療研究所国際保健医療福祉学(分野)の協力のもと、世界の放射線事故情報、放射線Q&A等を含めた被ばく医療情報を館内や「グローバルネット」で広く提供するほか、館内の交流ラウンジにおいて、被爆者を対象とした健康講話(被ばく医療研究の成果として、高齢となる被爆者の健康維持に資する情報を親しみやすいテーマにして提供する「被爆者健康講話」)を行っている。平成24年度からは、館内での講話に加え、長崎県、五島市の協力を得て、多くの被爆者がいる長崎県内離島部(五島市)とインターネットで結んで講話を中継する取り組みを実施し、多数の参加を得ていたが、令和2年度より五島会場からの中継は廃止した。

令和2年度及び令和3年度はコロナ禍で実施を中止したが、令和4年度は、8月より対面とオンラインによるハイブリッド形式での講話を再開し、令和5年度は従来通り6月より対面で実施した。録画した講話の様子は祈念館ホームページに掲載した。



(参考) 年度別実施状況 【被爆者健康講話】

| 年度           | 回数   | 利用者数   |        |        |
|--------------|------|--------|--------|--------|
|              |      | 長崎会場   | 五島会場   | 合計     |
| 令和3年度        | 6回   | —      | —      | —      |
| 令和4年度        | 7回   | 232人   | —      | 232人   |
| 令和5年度        | 10回  | 287人   | —      | 287人   |
| 累計 (H20年度開始) | 146回 | 4,578人 | 1,218人 | 5,796人 |

※令和3年度は、対面での実施が無いため、利用者数はカウントできず。

(講師が大学内で録画したものを祈念館ホームページに掲載)

#### 14. 平和関連情報の収集・整理・提供

来館者に「平和へのメッセージ」を作成していただき祈念館で保存・公開する。メッセージは祈念館で長期保存され、いつでも館内で閲覧ができる。館内のタブレット端末や用意されたカードに自由に記入するものと、画用紙などに記入して祈念館に持参するものがある。

令和5年度は新型コロナウイルス感染拡大防止のため、中止していた自筆式のカード記入を5月12日より再開した。

(参考) 実績 ※タブレット端末・カードの合計数

| 年度    | 収集登録数   |
|-------|---------|
| 令和3年度 | 814件    |
| 令和4年度 | 2,162件  |
| 令和5年度 | 3,436件  |
| 累計    | 95,608件 |



タブレット端末でのメッセージ入力  
(情報コーナー2)

## 15. 海外原爆展の開催

「原爆の惨禍に関する全世界の人々の理解を深め、その体験を後代に継承するための施設」としての祈念館の位置づけ、特に長崎祈念館の「国際協力及び交流」機能に鑑み、被爆の実相を広く世界に伝えるため、被爆 60 周年という節目の年にあたる平成 17 年度から実施している。

広島・長崎の両市が主催してイギリスで実施したヒロシマ・ナガサキ原爆・平和展に、当館で製作した被爆体験記集（英語）350 冊を提供した。

令和 5 年度は 4 月 1 日から 4 月 28 日まで米国ハワイ大学マノア校、12 月 15 日から令和 6 年 2 月 1 日までジョージア（旧グルジア）のイリア国立大学（トビリシ市）、2 月 4 日から 2 月 18 日バトゥミ国立大学（バトゥミ市）、2 月 27 日から 3 月 31 日までシグナギ国立博物館（シグナギ市）で実施した。トビリシ市およびシグナギ市での開会式に職員が出席した。なお、被爆体験講話については、令和 5 年 12 月 15 日と令和 6 年 2 月 27 日にオンラインで実施した。



展示会場の様子



被爆体験講話(オンライン)

(参考) 年度別開催状況

| 年度      | 会場                    | 場所                | 期間                                  | 来場者数    |
|---------|-----------------------|-------------------|-------------------------------------|---------|
| 令和 3 年度 | シーボルト博物館              | ヴュルツブルク市<br>(ドイツ) | 10 月 1 日<br>～11 月 28 日              | 350 人   |
| 令和 4 年度 | ハワイ大学マノア校<br>ハミルトン図書館 | ホノルル市 (米国)        | 3 月 1 日～3 月 31 日                    | 2,254 人 |
| 令和 5 年度 | ハワイ大学マノア校<br>ハミルトン図書館 | ホノルル市 (米国)        | 4 月 1 日～4 月 28 日                    | 3,154 人 |
|         | イリア国立大学               | トビリシ市<br>(ジョージア)  | 令和 5 年 12 月 15 日<br>～令和 6 年 2 月 1 日 | 4,000 人 |
|         | バトゥミ国立大学              | バトゥミ市<br>(ジョージア)  | 令和 6 年 2 月 4 日<br>～2 月 18 日         | 200 人   |
|         | シグナギ国立博物館             | シグナギ市<br>(ジョージア)  | 令和 6 年 2 月 27 日<br>～3 月 31 日        | 998 人   |



※これまでの開催実績 【開催国・都市数】14か国・27都市

アメリカ5都市、スペイン1都市、ベルギー1都市、マレーシア1都市、オランダ2都市、トルコ2都市、ロシア1都市、アイスランド2都市、ニュージーランド2都市、カザフスタン3都市、ドイツ2都市、ベトナム1都市、ポルトガル1都市、ジョージア3都市【延べ来場者数】(131,487人)

## 16. 外国語講座の開催

国際交流事業の一環として、祈念館や被爆建造物等の外国語による案内や平和関連国際会議等において通訳の出来るボランティアを育成するため、毎年、英語、韓国語、中国語の各講座を実施している。専門的・実践的な知識の習得に力を入れており、より高度なレベルでの対応ができるよう、実際にガイドを希望するガイド登録者を対象とした少人数制とし育成を行った。

令和5年度は6月～10月にオンライン及び対面の両方で開催した。また、11月、12月に実際に祈念館のガイドを実践した。

(参考) 年度別開催状況

| 年度    | 開催講座 ( ) : クラス数        | 受講者 (修了者) 数 |
|-------|------------------------|-------------|
| 令和3年度 | 英語 (1)、韓国語 (2)、中国語 (2) | 27人         |
| 令和4年度 | 英語 (1)、韓国語 (1)、中国語 (1) | 22人         |
| 令和5年度 | 英語 (1)、韓国語 (1)、中国語 (1) | 20人         |

※ 令和5年度修了者内訳 英語8人(前年比-3)、  
韓国語7人(前年比+3)、中国語5人(前年比-2)



祈念館の追悼空間でのフィールドワークの様子

## 17. インターネット会議システムによる平和学習・交流

祈念館への訪問が難しい遠隔地の児童・生徒に向けて、被爆の実相を伝えることにより平和を希求する心を育むことを目的に、インターネットによる会議システムを利用して、祈念館と現地をつなぎ被爆体験講話を中心とした平和学習を実施している。

現在、被爆者が直接出向くことなく現地に居ながらにして遠隔地と交流ができる特性を活用して、祈念館と海外の学校や自治体等との海外ピースネットも実施している。

(参考) 年度別実施状況 ※ ( ) 内数は海外との数

| 年 度           | 回 数      | 利用団体数  |
|---------------|----------|--------|
| 令和3年度         | 55(5)回   | 57 団体  |
| 令和4年度         | 40(3)回   | 41 団体  |
| 令和5年度         | 27(4)回   | 25 団体  |
| 累計 (平成16年度から) | 539(53)回 | 468 団体 |

〈ピースネットの様子〉



2023.8.29 カザフスタン・ジャパンセンター



2024.3.1 大日向小学校

## 18. 国際協力・交流プログラムの実施

平成22年度から、アジアの若者による平和ネットワークの構築・拡大を目指し、マレーシア、韓国、中国等から教官、学生を毎年2月頃に長崎に招いて、「アジアの若者によるネットワーク構築プログラム」APN (The Asian Youth Peace Network Program) 事業を実施してきた。令和4年度からは対象国を拡大し、「若者による平和ネットワーク構築プログラムNPN (Nagasaki Youth Peace Network Symposium)」と改称した。令和5年度は、「Youth Conference in Nagasaki」と題し、若者による平和への取り組みを学ぶ会議を3日間に渡って開催し、この会議への参加をメインとしたNPNプログラムを実施した。

(参考) 年度別実施状況

| 年度               | 国名/招聘  | 期間          |
|------------------|--|-------------|
| 令和3年度            | 海外からの招聘無し (オンライン)                                    | 2月25日～2月26日 |
| 令和4年度            | 米国6人、マレーシア7人   | 2月18日～2月19日 |
| 令和5年度            | 米国2人、マレーシア7人、韓国6人                                    | 2月12日～2月17日 |
| 累 計<br>(平成22年度～) | マレーシア86人、韓国68人、<br>インドネシア1人、中国人24人、<br>米国8人、(計 187人) |             |

※令和5年度参加者数：

海外からの招聘者15人・国内大学からの参加者11人 (うち3人は留学生)

計26人



被爆者による被爆体験講話の様子

## 19. 国際平和映画祭の開催

映画を通じて平和の大切さや被爆の継承について考える契機とするため、原爆や平和をテーマにした映画を上映している。(平成 22 年度開始)

令和 5 年度は事前の申込制とし、学童クラブに呼びかけるなど夏休みに子供を対象として集客を図り実施した。3 作品を上映したほか、平和かみしばいの上演や恐竜ポストカード作りのワークショップなどを催した。

(参考) 年度別開催状況

| 年 度     | 上映映画数 | 期 間         | 来場者数     | 備考 |
|---------|-------|-------------|----------|----|
| 令和 3 年度 | 3 作品  | 12 月 19 日   | 144 人    |    |
| 令和 4 年度 | 3 作品  | 11 月 6 日    | 368 人    |    |
| 令和 5 年度 | 3 作品  | 8 月 18～19 日 | 1,106 人  |    |
| 累計      | 85 作品 | —           | 15,873 人 |    |

※上映作品 (令和 5 年度)

【映画】「おまえうまそうだな」「えっちゃんのせんそう」「ブレッドウィナー」



映画祭会場の様子



サイドイベント 平和かみしばいの様子

## 20. 「被爆の実相の伝承」のオンライン化・デジタル化事業の実施

令和 3 年度から、長崎大学核兵器廃絶研究センター (RECNA) に委託して、祈念館が収

蔵する被爆者の体験記や原爆資料館が収蔵する写真などをデジタル化し、学生向けの教材としてインターネットで国内外の大学に提供するなど、若い世代への被爆の実相を伝える取り組みを実施した。

令和5年度は、「被爆前の長崎」の写真を活用した平和教育教材を3本制作した。また、令和4年度に制作した被爆前後の様子を比較しながら見ることができる航空写真マップ「航空写真アーカイブ」を拡充し、広島版の追加や、浦上エリアを中心に被爆前後のステール写真をアーカイブ状に配置した。これらアーカイブを活用したフィールドワークを夏休みの学生を対象に実施し、高評価を得た。また、「広島・長崎講座」での教育実践としてアーカイブを活用して「被爆前の日常」にフォーカスを当てた授業を合計約700名の生徒に対して実施した。

その他、令和4年度に開設したホームページ「被爆前の日常アーカイブ」の英語版サイトを開設した。

## 21. その他（館内利用）

学校関係者、旅行代理店に対し、平和集会や献花式での「追悼空間」の利用を促しているが、令和5年度は感染症対策を行いながら、コロナ禍の際は中止していた職員による対面での説明、参加者による合唱・平和への誓いなどの実施を再開した。

（参考）実績 【追悼空間利用】※平成19年度から統計開始。

| 年 度         | 件 数 (学校数) | 利用者数     |
|-------------|-----------|----------|
| 令和3年度       | 309件      | 16,644人  |
| 令和4年度       | 384件      | 23,161人  |
| 令和5年度       | 397件      | 23,037人  |
| 累計(平成19年度～) | 3,104件    | 176,899人 |

## 22. 新型コロナウイルス感染拡大防止に向けた取り組み

令和5年5月に新型コロナウイルス感染症の感染症法上の位置付けが「5類感染症」に変更されたことから、次の対応に変更した。

| 変更前   | 変更後   |
|---|---|
| <ul style="list-style-type: none"> <li>・入口から地下2階は一方通行の動線とした。</li> <li>・館内配布物を撤去（祈念館リーフレットのみ配布）した。</li> <li>・折鶴コーナー、平和へのメッセージカード記入等、不特定多数が触るものの撤去</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・入口から地下2階の一方通行を解除した。</li> <li>・館内配布物（チラシ）等を陳列した。</li> <li>・折鶴コーナー、平和へのメッセージカード記入等、再開した。</li> </ul> |

## 23. 長崎祈念館開館20周年の取り組み

### ①スーザン・サザード氏記念講演会・企画展

アメリカのノンフィクション作家で「ナガサキ～核戦争後の人生」の著者であるスーザン・サザード氏が、同著にも描かれている被爆者の5人の「長い戦後」について、「被爆体験を語り継ぐ永遠の会」による朗読や交流秘話を交えて講演を行った。

企画展の詳細については、「4. 企画展の開催」(P2)の項参照。

### ②追悼空間前室内祈念館情報システム機器更改

詳細については、「12. 情報展示システムの保守・管理」(P7)の項参照。

### ③朗読会「朗読と音楽の調べ」開催

詳細については、「8. 被爆体験記の朗読事業」(P4-5)の項参照。

### ④映像上映展「映像が語る 原爆の記憶」の開催

NBC長崎放送所蔵の原爆をテーマとした至宝映像6作品を1月20日から27日まで、毎日上映した。(※1月20日はオープニングトークイベント開催のため、2作品のみ上映)

### ⑤平和学習ノートブックの作成

開館20周年を機に、子どもたちが祈念館の趣旨を理解し、楽しみながら見学することができるようクイズ形式の「平和学習ノートブック」を作成。キャラクター原案やクイズの内容等は職員が考案。

令和6年度4月より館内に設置するほか、長崎県・市内の祈念館見学希望の学校に配布している。

国立長崎原爆死没者追悼平和祈念館の入館者数について（原爆資料館比較）

令和3年度

令和4年度

令和5年度

| 区分    | 祈念館       | 資料館        | 割合    | 祈念館<br>対前年度比 | 資料館<br>対前年度比 | 区分    | 祈念館       | 資料館        | 割合    | 祈念館<br>対前年度比 | 資料館<br>対前年度比 | 区分    | 祈念館       | 資料館        | 割合    | 祈念館<br>対前年度比 | 資料館<br>対前年度比 |
|-------|-----------|------------|-------|--------------|--------------|-------|-----------|------------|-------|--------------|--------------|-------|-----------|------------|-------|--------------|--------------|
| R3 4月 | 3,298     | 13,835     | 23.8% | —            | 1250.9%      | R4 4月 | 4,818     | 29,371     | 16.4% | 146.1%       | 212.3%       | R5 4月 | 6,728     | 48,915     | 13.8% | 139.6%       | 166.5%       |
| 5月    |           | 189        | —     | —            | —            | 5月    | 8,931     | 64,311     | 13.9% | —            | 34027.0%     | 5月    | 12,034    | 103,749    | 11.6% | 134.7%       | 161.3%       |
| 6月    | 3,351     | 7,050      | 47.5% | 366.2%       | 179.3%       | 6月    | 7,871     | 50,022     | 15.7% | 234.9%       | 709.5%       | 6月    | 11,944    | 62,641     | 19.1% | 151.7%       | 125.2%       |
| 7月    | 6,237     | 17,892     | 34.9% | 195.3%       | 211.5%       | 7月    | 6,878     | 29,443     | 23.4% | 110.3%       | 164.6%       | 7月    | 7,984     | 39,539     | 20.2% | 116.1%       | 134.3%       |
| 8月    | 2,389     | 7,704      | 31.0% | 45.0%        | 45.1%        | 8月    | 7,684     | 41,518     | 18.5% | 321.6%       | 538.9%       | 8月    | 10,001    | 57,791     | 17.3% | 130.2%       | 139.2%       |
| 9月    | 2,182     | 6,208      | 35.1% | 47.6%        | 27.4%        | 9月    | 6,770     | 47,197     | 14.3% | 310.3%       | 760.3%       | 9月    | 8,912     | 56,972     | 15.6% | 131.6%       | 120.7%       |
| 10月   | 11,309    | 62,837     | 18.0% | 113.7%       | 112.1%       | 10月   | 13,938    | 92,594     | 15.1% | 123.2%       | 147.4%       | 10月   | 15,500    | 107,478    | 14.4% | 111.2%       | 116.1%       |
| 11月   | 14,423    | 91,619     | 15.7% | 92.8%        | 142.0%       | 11月   | 12,850    | 98,993     | 13.0% | 89.1%        | 108.0%       | 11月   | 15,704    | 105,214    | 14.9% | 122.2%       | 106.3%       |
| 12月   | 10,038    | 60,461     | 16.6% | 108.7%       | 179.6%       | 12月   | 7,254     | 59,133     | 12.3% | 72.3%        | 97.8%        | 12月   | 7,935     | 47,974     | 16.5% | 109.4%       | 81.1%        |
| R4 1月 | 2,994     | 14,342     | 20.9% | 197.1%       | 337.5%       | R5 1月 | 5,287     | 28,572     | 18.5% | 176.6%       | 199.2%       | R6 1月 | 6,053     | 28,977     | 20.9% | 114.5%       | 101.4%       |
| 2月    |           | 2,602      | —     | —            | 54.3%        | 2月    | 5,791     | 34,054     | 17.0% | —            | 1308.8%      | 2月    | 7,237     | 39,047     | 18.5% | 125.0%       | 114.7%       |
| 3月    | 4,379     | 25,427     | 17.2% | 72.2%        | 128.5%       | 3月    | 7,188     | 49,025     | 14.7% | 164.1%       | 192.8%       | 3月    | 8,530     | 60,456     | 14.1% | 118.7%       | 123.3%       |
| 合計    | 60,600    | 310,166    | 19.5% | 104.6%       | 131.3%       | 合計    | 95,260    | 624,233    | 15.3% | 157.2%       | 201.3%       | 合計    | 118,562   | 758,753    | 15.6% | 124.5%       | 121.5%       |
| 累計    | 1,961,761 | 12,071,179 | 16.3% | —            | —            | 累計    | 2,057,021 | 12,695,412 | 16.2% | —            | —            | 累計    | 2,175,583 | 13,454,165 | 16.2% | —            | —            |

祈念館臨時休館日：R3. 4/28～6/7、8/10～9/12、R4. 1/21～3/6  
資料館臨時休館日：R3. 4. 28～5/31、8/10～9/12、R4. 1/23～2/20

祈念館臨時休館日：R4. 9/18～9/19台風14号による  
資料館臨時休館日：R4. 9/18～9/19台風14号による

祈念館：台風6号のため15時閉館  
資料館：台風6号のため15時閉館

# 令和6年度の事業計画

広島祈念館 1頁～4頁





## 令和6年度 国立広島原爆死没者追悼平和祈念館の事業計画

### 1 原爆死没者の氏名・遺影の登録・公開【資料1、P1参照】

広島県内外の被爆者対策担当窓口での葬祭料給付申請時や、平和記念式典への参列案内時に遺影登録の案内をするほか、8月6日に原爆死没者名簿への登載確認等との共同窓口を設置し、新規登録を呼びかける。

### 2 被爆体験記等の収集・整理・公開【資料1、P2参照】

被爆継承担当部署や広島平和記念資料館と連携し、また、広報紙への掲載やマスコミへの情報提供のほか被爆者証言ビデオ収録など、あらゆる機会をとらえて被爆体験記の提供を呼びかけ、収集に努める。

収集した被爆体験記は、逐次データベース化を行うとともに、イメージデータ化及びテキストデータ化を推進し、公開する。

### 3 企画展の開催【資料1、P2参照】

企画展示室（地下1階）において、毎年定めるテーマに沿って企画展を開催する。関連資料を展示し、被爆体験記をディスプレイで閲覧できるようにするとともに、被爆者の証言映像及び被爆者自身が描いた「原爆の絵」等を交えた映像作品を制作し上映する。

また、映像資料はインターネットに掲載するとともに、平和学習資料としてDVDや資料の貸出を行う。

さらには、「被爆の実相」を来館者により一層伝えるため、広島平和記念資料館と連携し、現在開催中の企画展のテーマに合わせた共同特別展を、8月の1か月間、研修室において開催する。

#### **【現在開催中の企画展】**

- (1) タイトル：「暁部隊 劫火へ向カヘリ ―特攻少年兵たちのヒロシマー―
- (2) 場 所：企画展示室（地下1階）
- (3) 期 間：令和6年3月1日（金）～令和7年2月28日（金）

太平洋戦争末期、陸軍の特別幹部候補生として集められた少年兵たちは、ひとり乗りのベニヤ製モーターボートで敵艦を撃沈させる特攻訓練を江田島で続けていた。しかし、

死を覚悟していた彼らを待ち受けていたのは特攻ではなく原爆投下だった。救護へ急行した彼らが死の街広島で何を見て、何を感じたのか。彼らの心情に迫る。(シアター映像の上映及び暁部隊関連資料等を展示)

**【令和7年3月1日以降】**

- (1) タイトル：「未定」
- (2) 場 所：企画展示室（地下1階）
- (3) 期 間：令和7年3月1日(土)～令和8年2月28日(土)（予定）

**4 被爆体験記執筆補助【資料1、P4参照】**

被爆者の高齢化に対応し、体験記の執筆が困難な被爆者を対象に、聞き取り・代筆を行い、被爆体験記の収集増加を図る。

聞き取り予定人数：10人（一般公募）

**5 被爆者証言ビデオ制作【資料1、P4参照】**

被爆体験を次の世代へ継承するため、県外在住の被爆者を対象に、その体験談をビデオに収録し、館内の体験記閲覧室で視聴できるようにするほか、ホームページなどで広く公開する。(平成15～18年度に引き続き、平成21年度から実施)

- (1) 収録者数：関東、関西、東海、九州地方在住の被爆者10人程度
- (2) 収録者：各都道府県の被爆者団体からの推薦に基づき収録候補者を決定する。

**6 多言語化対応事業【資料1、P5参照】**

海外から来館するさまざまな国や地域の人に、母国語で被爆の実相を伝えるため、多言語化を推進する。

被爆者証言ビデオの内容について、ギリシャ語に翻訳する。このほか、被爆者証言の世界化ネットワークとの連携により、英語、中国語、イタリア語、ドイツ語、ハンガリー語、フランス語、ロシア語、ポーランド語（予定）に翻訳する。翻訳した証言内容をもとに字幕入り証言ビデオを作成し、これまで翻訳している言語と合わせ、24言語の証言ビデオを館内公開する。

## **7 被爆体験記の朗読事業【資料1、P5参照】**

被爆体験記を朗読することにより、特に次代を担う子どもたちへ、被爆体験の継承を図るため、広島市内やその近郊において被爆体験記朗読会を開催する。また、朗読セットを貸し出しする。

- (1) 修学旅行生を対象とした朗読会や出前朗読会、定期朗読会の開催
- (2) 朗読セット貸出件数：20 団体

## **8 被爆体験伝承者等の派遣【資料1、P6参照】**

被爆体験証言者、広島市が養成している被爆体験伝承者及び上記7の被爆体験記の朗読を行うボランティア等の国内外への派遣を行う。

なお、実施にあたっては、広島市と調整を図るとともに、国立長崎原爆死没者追悼平和祈念館と協力・調整を行い、また、関係機関への周知を図る。

伝承者等派遣予定件数：655件

## **9 被爆体験伝承者等に対する語学等の研修【資料1、P6参照】**

上記7の被爆体験記の朗読ボランティア及び上記8の被爆体験伝承者について、語学等の研修を実施する。

## **10 修学講習の実施【資料1、P6参照】**

被爆体験の次の世代への継承と平和意識の高揚を図るため、修学旅行などで広島を訪れた児童・生徒等を対象に、被爆者による被爆体験講話等を内容とする講習を実施する。

## **11 平和学習講習会でのPR【資料1、P7参照】**

平和学習を目的として多くの修学旅行生に来館してもらうため、広島市主催の平和学習講習会において、学校関係者及び旅行会社等に対し、被爆体験継承など祈念館で実施している平和学習の紹介を行う。

## **12 インターネットによる情報提供【資料1、P7参照】**

広く国内外に情報発信するため、外部提供について同意の得られた被爆体験記及び被爆者証言ビデオについて、順次、ホームページへ掲載する。

また、収集した図書については、随時、ホームページの図書検索画面に追加し、紹介する。

### 1.3 情報展示システムの保守・管理【資料1、P7参照】

来館者へのサービス向上及びシステムの安全性・信頼性を確保するため、情報展示システムの保守・管理を行う。

# 令和6年度の事業計画

長崎祈念館 1頁～5頁



## 令和6年度 国立長崎原爆死没者追悼平和祈念館の事業計画

### 1. 原爆死没者の氏名・遺影の登録・公開【資料2、P1参照】

今年度も、長崎市原爆被爆対策部援護課、長崎県原爆被爆者援護課の協力を得て、葬祭料の申請時にご遺族の方に氏名・遺影の登録依頼のチラシを配布する。特に長崎市では、令和3年度から葬祭料申請時にご遺族の方に登録の意思確認をしており、更なる登録の推進を図る。

また、全国の被爆者（特に身寄りのない方など）から問い合わせがあっている、原爆死没者の氏名・遺影の生前登録について、死亡時の連絡体制等に協議が必要なため、引き続き検討を行う。

### 2. 被爆体験記の収集・整理・公開【資料2、P2参照】

今年度も、長崎市原爆被爆対策部援護課の協力を得て、市内在住の被爆者（約2万人）の方に、体験記寄贈及び執筆補助、証言ビデオへの協力依頼の呼びかけを実施する。（すでに4月に郵送済）

### 3. 企画展の開催【資料2、P2参照】

テーマを定め、祈念館が収集所蔵する被爆体験記などの中からテーマに沿った体験記を選定し、交流ラウンジ等で開催する。

今年度は、被爆後、長崎から遠い地に暮らす被爆者の苦労や体験をテーマに展示を行うとともに、昨年証言ビデオを撮影した青森県の二重被爆の被爆者をゲストとして迎え、トークイベントを行う。

被爆体験記企画展

第14回体験記企画展（タイトル未定）：10月下旬予定

### 4. 被爆体験記執筆補助【資料2、P2参照】

被爆者の高齢化で被爆体験記の執筆が困難な方を対象に、引き続き、職員が聞き取りと代筆を行ない、館内の手記・体験記閲覧室やオンライン上で公開する。

今年度も、長崎市原爆被爆対策部援護課の協力を得て、市内在住の被爆者（約2万人）の方に、体験記寄贈及び執筆補助、証言ビデオへの協力依頼の呼びかけを実施する。（すでに4月に郵送済）

聞き取り予定人数：20人

## **5. 被爆者証言ビデオ（国内・国外）の制作【資料2、P3参照】**

被爆者団体等の協力を得て、国内及び国外で被爆者証言ビデオを収録し、館内の手記・体験記閲覧室やオンライン上で公開する。

長崎県在住の被爆者のほか、広島祈念館と連携し、関東・中部・関西・長崎県以外の九州在住の長崎被爆者について収録を行う。

また、韓国在住の長崎被爆者についても収録を行う。

- (1) 収録者数：関東・中部・関西・九州の被爆者10人程度、韓国3人程度
- (2) 収録者：被爆者団体等からの推薦、又は現地調査に基づき、収録者を確保する。

## **6. 多言語化対応事業【資料2、P3参照】**

被爆の実相と被爆者の声を広く世界に発信するため、引き続き、英語、韓国・朝鮮語、中国語を中心として多言語化（翻訳・吹替え・字幕）を実施する。

当館で翻訳した被爆体験記（開催地の言語：英語）を広島市・長崎市が企画実施するヒロナガ原爆展会場（開催地の言語：スロベニア語、ポルトガル語）で配布してもらうよう、ヒロシマ・ナガサキ平和アピール推進委員会へ提供する。

## **7. 被爆体験記の朗読事業【資料2、P4参照】**

被爆体験記の朗読ボランティアを育成し、長崎市内外小中学校等への派遣、来館者を対象とした館内での朗読を実施するとともに、厚労省収集の体験記を読み込み、館内常駐朗読のための素材の開拓（編集作業も含む）を進める。

昨年度、若い世代に朗読活動を手伝ってもらうように設立したU-25の活動の幅を広げ、MCや司会などの手伝いだけでなく、実際に常駐や定期朗読会で朗読をする。

さらに、今年度は修学旅行シーズンに、土日以外にも常駐朗読を試験的に実施する。（5～6月の第1木曜日に実施済み。3月の春休みシーズンの平日にも実施予定。）

また、依頼の多くなった派遣事業にも対応するために、第3期生の育成講座を秋以降に開講する。

- (1) 館内朗読会：①定期朗読会年1回（祈念館交流ラウンジ）  
②「9日を忘れない」毎月9日11:00～11:30（資料館いこいの広場）



- (2) 派遣朗読会：長崎市内外において、学校や一般の依頼に基づき、朗読会を開催する。
- (3) 常駐朗読会：毎週土・日及び祝日 10：00～16：00 祈念館 B1F 追悼コーナー  
※5～6月の第1木曜日、3月（春休み時期）の平日
- (4) 派遣朗読指導：長崎市内において、学校の依頼に基づき、児童・生徒たちに被爆体験記の朗読指導を行う。

## **8. 家族・交流証言者等の派遣【資料2、P5参照】**

長崎市の委託を受け長崎平和推進協会が養成した家族・交流証言者、被爆体験記の朗読ボランティア、被爆者ご本人を全国に派遣する。また、令和4年度から開始した国立市が養成した原爆体験伝承者も同様に派遣する。

## **9. 家族・交流証言者等に対する語学等の研修【資料2、P6参照】**

引き続き、英語ネイティブによる語学研修を実施し、スキルアップを図る。

語学研修の成果を発揮する場所として、祈念館内（資料館内）での英語による講話の実施も検討する。

## **10. 修学講習の実施【資料2、P6参照】**

原爆の被害の実相を広く国の内外に伝え、後代まで語り継ぐために、修学旅行生などの団体に会場として「研究室」を提供し、平和学習のための被爆体験講話を実施する。

### **11. 情報展示システムの保守・管理【資料2、P7参照】**

来館者がシステムをより使いやすくなるような改修業務を行う。改修内容については、広島館と相談の上、決定する。

### **12. 被ばく医療関連情報の収集・整理・提供【資料2、P7参照】**

長崎大学大学院医歯薬学総合研究科の協力のもと、被爆者を対象とした被爆者健康講話を実施する。講話した様子を録画し、祈念館ホームページに掲載する。

開催回数：6月～翌年3月 10回予定

### **13. 平和関連情報の収集・整理・提供【資料2、P8参照】**

来館者自身が描く文字や絵による、平和のメッセージを収集・公開する。

#### 14. 海外原爆展の開催【資料2、P9参照】

今年度は、次のとおり関係機関と調整を行っている。

ただし、今年度も被爆者への体の負担を考慮して、被爆者の渡航は考えておらず、ピースネット（オンライン講話）を実施する。

##### 【令和6年度海外原爆展開催候補】

|          |   |
|----------|---|
| 候補地      | アルマトィ市（カザフスタン）  |
| 候補地選定の経緯 | ① カザフスタンは、1991年8月29日にセミパラチンスク核実験場を閉鎖し、保有する核兵器を廃棄した。2024年3月1日現在、平和首長会議に15都市が加盟しており、2025年の核兵器禁止条約の締約国会議で議長国となるなど熱心に非核の政策に取り組んでいる。<br>② 2014年度にカザフスタンで海外原爆展を実施しており、当時現地受け入れ団体であったカザフスタンジャパンセンターに対し、国民から、セミパラチンスク核実験場閉鎖30周年に当たる2021年の後に、再度カザフスタンで原爆展を実施してほしいとの声が寄せられており、同センターから実施の要望を受けた。 |
| 概要       | アルマトィ市<br>カザフスタン国立中央博物館、ナルホーズ大学にて開催予定。  |
| 開催時期     | 2024年8月下旬～（予定）  |

#### 15. 外国語ボランティア育成講座の開催【資料2、P10参照】

今年度はすでに原爆についての知識のある平和案内人を主な対象として、即戦力のある外国語ボランティアを育成するために、座学およびフィールドワークを主体に実施する。また、昨年度同様、実践を積むため、祈念館で実際にガイドをする。

#### 16. インターネット会議システムによる平和学習・交流【資料2、P10参照】

被爆者の高齢化が進むなか、長崎を拠点に国内外の遠隔地の方へ被爆者の実相を伝えることができるインターネット会議システムの特徴を活かし、長崎に来ることが難しい遠隔地の学校等を中心に、海外の大学や海外原爆展のネットワークを通じて海外の都市とも積極的に実施する。

- (1) 国内：10か所程度（長崎県内離島や県外）
- (2) 海外：2か所程度（海外原爆展でのピースネット実施含む）

### 17. 国際協力・交流プログラムの実施【資料2、P11参照】

今年度は、海外原爆展を開催する都市や学校の指導者や若者を招き、海外原爆展を現地で説明したり、その後も継続的かつ自主的に原爆展を開催してもらうための研修を実施する。

開催時期：カザフスタンでの海外原爆展前（8月頃）を予定

参加者：昨年度の海外原爆展開催地（ジョージア）ならびに今年度開催地（カザフスタン）の指導者および学生。

### 18. 国際平和映画祭の開催【資料2、P12参照】

今年度は、(公財)長崎平和推進協会の写真資料調査部会と連携し、子どもたちのための写真展を開催する会場で、子供向けの映画（アニメ）を上映する。

開催時期：令和6年8月予定

会場：祈念館交流ラウンジ（B2F）

### 19. 「被爆の実相の伝承」のオンライン化・デジタル化事業の実施【資料2、P12参照】

令和3～5年度は、若い世代へ被爆の実相を伝えることを目的に、長崎大学核兵器廃絶研究センター（RECNA）に委託し、祈念館が収蔵する被爆者の体験記や新たに収集した資料や写真などをデジタル化し、学生向けの教材としてインターネットで国内外の大学に提供した。

今年度はそれらの教材をより実践的に活用できるよう拡充を図るとともに、教育現場で実践し、効果を分析する。

これらの事業を実施するにあたり、参加者の安全などを考慮しながら、事業をすすめていくこととする。

以上

## 入館者からの感想や意見・要望等

広島祈念館 1頁～13頁



## 令和5年度 広島祈念館における入館者からの感想や意見・要望・感想

### 1. 概 要

平成14年9月から「感想ノート」を出口前の机に設置し、入館者に感想や意見等を自由に記入してもらっている。

平成31年度から令和3年度までは、新型コロナウイルスの感染拡大防止の観点から、臨時休館や海外からの旅行者激減などにより、日本語での記述が多かったが、令和4年度後半からは、海外からの旅行者も徐々に戻り、外国語の記述が見受けられるようになり、令和5年度は、外国語の記述が全体の約8割を占めるようになった。

### 2. 主な意見・要望等

特になし。

### 3. 感 想（原文まま、外国語については、翻訳参照）

- Thank you for preserving this place. It is such a reminder for humankind to spread the message of peace and harmony. A lesson for generation (ママ) to come to learn from the past and work for the future. (インド)  
【翻訳】この場所を保存してもらい感謝しています。ここは人類が平和と調和のメッセージを広めることを思い出すのにこの上ない場所です。次の世代の者たちが過去から学び、未来に向かい未来のために行動するための教訓がここにあります。
- 昨年「空白の天気図」を読んだばかりです。企画展をひらいてくださりありがとうございました。私の曾祖父は当時広島城の近くで被爆し行方不明になっていましたが、9月下旬、芸備線の線路を歩いて三次市の自宅まで帰り着いたと聞きました。枕崎台風によって橋が流失しており川に残っていた線路を伝い歩いたとのことでした。あの日、あの夏に私の曾祖父をはじめ多くの人々が広島に暮らしていたことを忘れず生きていこうと思います。もう二度と同じあやまちをくりかえさないように世界で唯一の被爆国として後世の人々に伝えていかないといけないと思いました。いつまでも平和であってほしいです。
- 本日は被爆体験朗読会に参加しました。学校の勉強ではない勉強をしました。広島で平和を願い宮城に帰ります。ありがとうございました。
- My grandmother was 8 years old when she survived the bombing in Hiroshima. She is alive today (April 2023) to tell her story. I am foreigner enough to hear her story. This museum and exhibits do justice to all who are unable to share their stories on August 6, 1945. Thank you for remembering and acknowledging their life stories. Tears of pain.

Tears of joy. (不明)

【翻訳】祖母が広島で原爆に遭ったのは8歳の時でした。彼女は現在（2023年4月）存命で、自身の体験を話してくれます。祖母の話を知ることができる私は幸運です。この祈念館と展示は、1945年8月6日の被爆者の証言を共有できない全ての人たちの思いを十分に表現しています。

- This is the most wonderful memorial place I think I have ever seen. We have a quiet time to reflect in the room downstairs and take in the enormity of the destruction which happened on that day in 1945. Please with all countries visiting we learn or hope for better ways to solve world conflict. Love and peace hopefully will win.  
(オーストラリア)

【翻訳】ここは私が今までに見た中で一番素晴らしい場所です。地下の部屋で静かに考え、1945年のあの日に起きた破壊の甚大さに思いを馳せました。ここを訪れたすべての国々とともに学び、世界の紛争を解決するより良い方法を希望します。愛と平和が勝利することを願っています。

- 広島は小学校のころに一回来て、同じものを見ているはずなのに全然見方が違ってびっくりしました。もう一度来れて、ほんとうによかった。このノートを見ている小学生や中学生の子は、もうあと数年たってもう一回きてみるべきです。ぜひ。
- G7サミットを実感したため、広島に来ました。資料館は外国の方がたくさんこられて入れず、ここに入館しました。あの日あの時、まるで■（読めない）している自分を実感できた。とても素直に原爆の体験ができました。ウクライナには核戦争にならない事を祈っています。
- こんなところがあるなんて初めて知りました。このPARKには何度もきているのに、具体的な実名の人たちのしょう言をきいて、よりリアルに原子爆弾のおそろしさを痛感しました。またゆっくり学びにきたいです。
- 平和っていいなって思いました！今生きれていることにかんしゃをしたいです。もう二度とせんそうがおこらないように… 平和が世界で一番！これからせんそうがおきませんようにっ！14万人が亡くなったと書いてあったけど、たぶんその倍くらいは死にそうなくらいつらいおもいをしたと思います。それもふつうに死ぬんじゃなくて体中もえて水を必死に探しながら亡くなった人も大ぜいいると思います。そんな人たちのためにもう二度と原爆が落とされませんように…
- はじめてこちらの光景を目の当たりにして言葉が出ませんでした。まだ戦争が起きている国があること、今自分が幸せに暮らせていることがどれだけ有難いことなのか知ることができ

ました。1日でも早く世界中が戦争のない平和な暮らしができますように…。そして今、自分にできることを精一杯がんばろうと思います。

- I am so sad that people dropped the A-bomb. I hope that such a tragedy never happens ever again. The survivors must have been scarred for the rest of their lives. (不明)  
【翻訳】私は、人が原爆を落したことをとても悲しく思います。このような悲劇が二度と繰り返されないように望みます。被爆者が負った傷は一生癒えなかったに違いありません。
- 小学生のころ以来に来ました。成長して、より原爆のひさんさを感じ、言葉が出ませんでした。平和な世界になるよう祈っています。
- A very beautiful memorial and heartbreaking reminder of the devastation and casualties that can be caused by war. May this part of history serve as a reminder to mankind that an event like this never has to be repeated again. (不明)  
【翻訳】この祈念館はとても美しく、また戦争によってもたらされた破壊と犠牲とを思い起こさせる痛ましい場所でもあります。この歴史の一部が、このような出来事は二度と繰り返されてはならないことを人類に思い起こさせるものとなりますように。
- Let's keep the peace. No more wars or conflicts. A dream that one can wish for. Let us use this memorial as a reminder of the outcome of war. I give my deepest wishes to those invaded with the A-bomb and wish them peace. (不明)  
【翻訳】平和を守り続けましょう。戦争や紛争はいりません。これは一個人が望みうる夢です。戦争の結果を思い起こさせるものとしてこの祈念館を利用しましょう。私は原爆によって被害を受けた人々に哀悼の意を捧げ、冥福を祈ります。
- ワークシートのおかげで、小3の子どもが最後まで集中してまわることができました。体験記でたまたま広げた「ぞっとするので思い出したくない。」の一文で、子どもたちは十分だったようです。
- I enjoyed the memoir readings today. The booklet was well done with the poetry. It would be more engaging to have children do a few readings too even if its only recordings. Also be flexible with the days and take advantage of times make there are more visitors here. Thank you for the live experience today! It was emotional for me and very educational as well. Thank you and may God continue to bless and keep you strong, loving and lived in this world. Peace be unto you and future generation. (不明)  
【翻訳】本日は被爆体験記を読ませていただきました。詩が掲載された冊子はとても良くできていたと思います。ただの記録でしかないが、子どもたちに2~3編読ませることができたらより参加型のものになると思います。来館者がもっと多い時期は、柔軟に開館し、時間が有効に使えるようにしてほしい。今日は生きた体験をさせていただきありがとうございました。



私にとって感情を揺さぶられるものであったと同時に非常に勉強になりました。神の恵みが続き、これからもこの世界で強く、愛情に満ちた暮らしが送れますように。皆さまと後世の人々に平和あれ。

- I am so mournful for the thousands of lives lost. This very touching memorial has left me sad—and hopeful for world peace. (アメリカ カリフォルニア州)

【翻訳】何千もの失われた命に哀悼の意を捧げます。この感動的な祈念館を訪れ悲しくなりましたが、世界平和に期待します。

- 沖縄から来ました。沖縄は太平洋戦争中、地上戦があった日本で唯一の場所で、多くの市民が亡くなりました。艦砲射撃を受け、多くの人が逃げ惑ったということを知りました。広島は一瞬にして多くの命が亡くなり、亡くなった人たちの気持ちを考えると、涙が出るほど悲しくて、悔しくて、苦しくなりました。私たち人間は核爆弾を放棄しなければなりません。これからも子どもたちに平和の大切さ、自身の権利のためだけに、他人を攻めることのおそろしさを伝えていきます。広島に来て本当によかったです。

- This memorial is incredibly moving. I am praying for peace and that love will prevail. Thank you for this monument as a reminder that we should never forget. (オーストラリア)

【翻訳】この祈念館では信じられないほど心を動かされます。平和と愛の勝利を祈ります。忘れてはならないことを思い出させてくださりありがとうございます。

- Beautiful and haunting stories from the meteorologists in Hiroshima at the time. This never should have happened. I pray for peace for everyone and no more nuclear weapons. (アメリカ フロリダ州)

【翻訳】当時の広島気象予報士たちの感動的で恐ろしい話でした。このようなことは二度と起きてはなりません。全ての人に平和を、核兵器はもうありません。

- Seeing the stories and faces of real victims is humbling and touching. We hope for peace in this world. (オーストラリア メルボルンとスリランカ)

【翻訳】実際の被爆者たちの話や顔写真を見ることで謙虚になり、心を動かされました。世界の平和を願います。

- So good however you need to put more pictures to demonstrate the sadness. (不明)

【翻訳】とても良いですが、悲しみを表現するためもっと写真を出した方がいいと思います。

- 平和は人々が生きる中でとても大切なものだった！平和には人の命がうばわれるわけではないが戦争は人の生きる希望を無くすからよくないと思った。

- Thank you for creating a sacred place to honor those who were taken so indiscriminatorily (ママ) . The weight of those who passed will be carried forward.

May we find a future and society without war, nuclear weapons, and violence. We will never forget. (不明)

【翻訳】このように無差別に命を奪われた人々に敬意を払う神聖な場所を作っていただきありがとうございます。亡くなった方々の重みはこれからも引き継がれます。どうか私たちが戦争、核兵器、そして暴力のない未来と社会を見つけられますように。私たちは決して忘れません。

- This was a very moving site and one mankind should learn from and never repeat. The stories from the victims will remain with me forever. (イギリス スウィンドン)

【翻訳】ここは非常に心を揺さぶられる場所、そして人類が学ぶべき、決して繰り返してはならない場所です。犠牲者たちの話は私の中に永遠にとどまり続けるでしょう。

- All those who continue promoting peace are peace themselves in my eyes. Thank you to all who work here. The staff are respectful and welcoming. (不明)

【翻訳】平和を推進し続けている全ての人々が私にとっては平和そのものに見えます。ここで働く全ての方に感謝します。職員は礼儀正しく歓迎してくれました。

- たくさんの方々がお亡くなりになりました。たくさんの方々ではなく、一人一人にお名前があり、お父さん、お母さん、兄弟姉妹、子ども…たくさんの家族がいたことを改めて思い知らされました。

- Very sad and terrible event. I hope that nothing like that will ever happen. I only wish peace upon everyone. (不明)

【翻訳】非常に悲しくひどい出来事です。このようなことが二度と起こらないよう願います。全ての人に平和が訪れますように。

- 思ってたよりたくさんの方々が亡くなっていたことを知り、悲しくなりました。戦争を止めるのは私たちのやくわりなのでいろいろな人に戦争のつらさを呼びかけたいです。

- 私は広島に来るのが今回で3回目ですが、これまで原爆の象徴を原爆ドームだと思っていました。しかし相生橋からの無垢で美しい街の風景を見たことで考えが変わりました。相生橋という原爆のターゲットとなった場所から見たこの美しい風景は美しい街そして美しい魂に向けられた最大の暴力であると思います。この祈念館で目にした犠牲者の方々の美しい魂こそが原爆を最大の暴力とする証明であると思います。

- コロナが流行し、この日に広島県へ足を運ぶことがなかなかできませんでしたが、今年4年ぶりに訪れることができました。愛知県に在住しているものですが、ここに来ると戦争の悲惨さと同時に、平和の尊さを感じます。決して忘れてはいけないことなのに、毎日毎日ニュースで核の脅威が近づいているのを感じます。ここに来ると、日本中、世界中の人が真剣な眼差しで当時の戦禍を見つめ、平和について考えている姿を目にします。その姿を見られる

うちは、「ああ、まだ大丈夫」と連日のニュースとは裏腹に安心感を覚えます。考える時、場所を求めて、またここに来てしまいます。忘れてはいけない、戦争はあってはならないと誰もが思える日が来ることを祈り、この場所に感謝をして、また訪れたいと思います。

- In a world where people still fight so called "Freedom," "Power," and "wealth" it's important that places like this exist (ママ) . We still haven't learned from the past and we still tend to make the same mistakes people did centuries ago. Somehow the world still can't understand how much suffering war means. We build new weapons, new guns, new tanks and everything gets more and more deadly but no one seems to remember how people suffer. The atomic bomb destroyed a whole generation of people but we still didn't learn. To hear those stories, to see their faces means to remember. HEAR THEIR STORIES, LET THEM LIVE ON AND REMEMBER!! (不明)

【翻訳】いわゆる「自由」や「権力」そして「富」をめぐる人々がいまだに争っている世界において、このような場所が存在することは大切です。私たちはまだ過去から学んでおらず、人々が何世紀も前に犯したのと同じ過ちを犯しがちです。どういうわけか、世界は戦争がいかにかに苦しみに満ちたものであるかをいまだに理解できないのです。私たちは新しい兵器、新しい銃、新しい戦車を作り、全てはますます殺傷力を増しているのに、人々がどれほど苦しむかを思い出す人はいないようです。原子爆弾は一世代の人々を滅ぼしたのに、私たちはまだ学んでいません。これらの話を聴き、彼らの顔を見ることは記憶することを意味します。彼らの話を聴き、語り継ぎ、記憶せよ！！

- 広島生まれ、広島育ちの都内在住の大学生です。広島では当たり前の「8月6日の黙祷」「平和記念式典のテレビ中継」が他地域では行われていないことに衝撃を受けました。広島に生まれ育ったものとして、この歴史は語り継がなければならないと思います。また、このヒロシマを訪れた皆さんには、ヒロシマで何が起こったのか、いかに戦争が悲惨なものなのかを知り、毎年8月6日を特別な日であると認識してもらいたいです。二度と同じ過ちを繰り返さぬように。
- 大阪から来ました。「空白の天気図」感動しました。もっと原爆について全世界の人たちに知ってもらいたいと感じ、私も声を大にして伝えたいです。
- The memorial was an amazing place to learn more about tragic events of what happened in 1945. I hope that more people come and experience the memorial for what it is. There is no room for war and definitely not atomic bombs in the world. I wish all who lost their lives on that day peace forever. (不明)

【翻訳】この祈念館は1945年に起きた悲惨な出来事について学ぶことができる驚くべき場所です。より多くの人々が訪れ、祈念館をありのまま体験してほしいです。この世に戦争が存

在する余地、まして原子爆弾のための余地は全くありません。あの日に命を落とした全ての方々のご冥福をお祈りします。

- 東京の大学生です。初めて来ました。徴用された旧植民地の人々で犠牲となった方々への言及があり、マイノリティとして今も生きる私にとって、少しばかり安心する気持ちでした。関東大震災での朝鮮人虐殺といった出来事も含め、戦争や国策の大きな暴力の中でおこるむごたらしい惨禍を記憶し、忘却や歴史修正に抵抗しなくてはならないと思います。
  - 資料館の見学には長い列ができていたのでこちらへ見学に来ました。無料にもかかわらず、非常に有意義なところでした。「記念館」ではなく「祈念館」という名称に心を打たれました。もっともっと沢山の人の見学に来ていただき原爆の惨状を知って欲しいです。こちらの「祈念館」を広めていただけるよう活動をお願いします。平和な日常に感謝…
  - 中学の修学旅行で来た際は時間もなく現実に起こった怖いことを目の当たりにする恐ろしさに耐えかね、目をそらしていた。高校で日本史を学び、大学生になり、時間を得たので今、日本で起こってしまった悲慘な事件、体験の真実、どうしてそれが起こったのかを含めて一生懸命長い時間をかけて学んでいる。歴史を繰り返さないため真実を知り実際の経験を知る。いくらか冷静にふかんでできるようになった20歳でやっと苦しみを実感し、受け止めている。学び、残し、思い、平和を祈ることが私達にできることの一つ。真実を学び続けたい。
  - 气象台ランプ、晴れが白、雨が青、くもりが橙、雪が緑、風が赤い。原爆が落とされて灰色になった景色で夜の暗闇は言葉では表現できないほどおそろしいものだと感じた。今自分がここにいる事、生きているという事だけで幸せなんだと感じた。
  - There is absolutely no need for nuclear weapons to be used. We are all humans that want to live a happy and fulfilling life, and as such must be respectful and empathetic with each other.。(不明)
- 【翻訳】核兵器を使用する必要は全くもってありません。私たちは皆、幸せに生き、人生を全うしたいと願う人間は、そのためにお互いへの敬意と共感を持たなければなりません
- Utterly sad to think that world leaders could unleash this human savevy (ママ) on Hiroshima and Nagasaki. This memorial park is a credit to you. Let's hope it serves as a lesson to stop nuclear arms development. No more atomic bomb. (アイルランド オーストラリア)
- 【翻訳】世界の指導者たちがこの人類の英知を広島と長崎に放つことができたと考えるのは全くもって悲しいことです。この記念公園は賞賛に値します。核兵器開発を止める教訓となるようお願いしましょう。ノーモア原子爆弾。
- There are no words to describe the cruelty of such weapons. To see the faces of known victims really shows someone who they are and how human they are if they don't feel

such weapons are unnecessary. (アメリカ)

【翻訳】このような兵器の残虐さを表現する言葉はありません。犠牲者の顔を見ることにより、誰がどんな人間なのかがわかり、もしそのような兵器が必要ないと感じるのであれば、その人たちはどれだけ人間的と言えるのでしょうか。

- PLEDGE ! "This must never happen again !" All world leaders owe it to the humanity that they all meet hear once a year and make this pledge and learn from Hiroshima. Thanks for this wonderful memorial and a lasting legacy to the victims for this horrific human tragedy. (アメリカ)

【翻訳】誓い！「二度と起きてはならない！」全ての世界の指導者たちは人類に対して年に一度ここで会い、この誓いを立て、ヒロシマから学ぶ義務があります。この素晴らしい祈念館と、この恐ろしい人類の悲劇の犠牲となった方々が遺したものに感謝します。

- 初めて念願の当地を訪れて、おもわず涙が出てしかたがありませんでした。今私80歳まで生きられた事、被爆にあわれたおおぜいな人々の無念がひつひつと体に感じました。今ある平和が皆様の犠牲の上でのことです。広島の人たちのためにも平和を祈ります。
- 「空白の天気図」大変良いものを見せていただきました。当時実体験された方々の生々しい声が聞けて胸に響きました。
- A very respectful and peaceful space in memory of who lost their lives. (イギリス)
- 【翻訳】命を落とした方々を追悼する、敬意に満ちた平和な空間です。
- 私は東京の人間だし、原爆の被害は受けていませんが、話を聞くだけで悲しく、涙が出ました。人の命は重いです。他人事ではありません。そして放射能は人を攻撃するのに使うものではありません。その前に攻撃で片付けようと考えてはいけません。こんなことをしていたら、いつか地球はなくなると思います。立ち止まって考えてください。
- げんばくでたくさんの子が死んでいって、自分より下の子もたくさん亡くなっていることがわかった。もうせんそうがないといい。
- 最後の北さんの日本人だけじゃなく世界中の人が平和を願わなければならない、戦争、原爆禁止！！
- 原爆の後の台風被害は今まで知りませんでした。
- A very meaningful experience to walk down memory lane and relive the tragedy of the past. I found myself contemplating on our capacity to inflict pain but yet again rise again and rebuild. Let us continue to learn from our past and build a better road to the future. I hope these lessons can be shared with many nations so they don't repeat the mistakes of the past. (不明)

【翻訳】追悼空間のスロープを下り、過去の悲劇を追体験するのは意義深い経験でした。私た

ちは苦痛を与えることができますが、それでも立ち上がり再興する力もあるのだということに思いを巡らせていることに気づきました。過去の過ちが繰り返されないよう、これらの教訓が多くの人々と共有されることを願います。

- I like how you made mural's (ママ) on the wall so you could see the names of many neighborhoods! I also like how you made a video for the people that survived and interviewed them. I also like how you made a library so people can learn stuff. I learned that Sadako Sasaki died when she was 12, 2 years old when the U.S dropped the bomb. I think she died either because of the radiation or drinking atomic water. I hope this world becomes as peaceful as the born in Miami. (不明)

【翻訳】壁面に町名がわかるようになっているのは良かったと思います！生き延びた人たちがインタビューされているビデオも良かったです。来館者が学べるように作られた図書室も良かったです。佐々木禎子さんはアメリカが爆弾を落とした時2歳で、12歳で亡くなったことを知りました。彼女がなくなったのは放射線のせい、原子の水を飲んだからだと思います。

- 人間はいつまでこんな世界を続けるのだろうか。広島を見て核のない平和な世界になるように祈り続けたい。
- It's so important that these stories are told and preserved for future generations so such tragic events never happen again. (不明)

【翻訳】このような悲劇的な出来事が二度と起きないように、これらの話を語り後世のために保存することはとても大切です。

- 空白の天気図、これまで知っていなかった話ばかりで、技術者の魂みたいなものが伝わり胸を打ちました。ぜひ常設でどこかで見られるようにしてほしいです。原爆の直後の枕崎台風の話…。ありがとうございました。
- 戦争の悲惨さがとても伝わりました。戦争の光景を見ることはできないけれど、写真でも悲惨さが伝わるということが分かりました。
- パクナムジュさんの話を聞いたこともあり、とても分かりやすく、360° パノラマのところでは、実際のヒロシマのところ（想像しにくいもの）を想像できて、とても良い体験ができました！
- Hiroshima and Japan had endured much. The suffering and its lingering effects, unimaginable. Thank you for preserving this peace park and the A-dome. It allows everyone- from near and far to learn of this terrible, but unfortunately true part of history. May such an every never recur. May peace, friendship and kinship be what prevails in the hearts of all beings. Thank you for welcoming us here. (マレーシ

ア)

【翻訳】広島そして日本は大変苦しみました。その苦しみと長引く後障害は想像を絶するものです。この公園と原爆ドームを保存してくださり感謝します。おかげで、遠近を問わず全ての方がこの悲惨な、しかし残念ながら歴史的な真実を学ぶことができます。このようなことが二度と再び起きませんように。生きとし生けるものの心が平和と友情と隣みで満たされますように。私たちを受け入れてくださりありがとうございました。

- 小学生の時にはだしのゲンを見てからとてもコワイ事があったんだと教えられてきて、中学生で長崎へ修学旅行へ行き、そして今、初めて広島に来て、Youtube などで見るとは全く違って当時の事が伝わってきました。日本人の一人として、子や孫にこの事を話し伝えていきたいと思いました。広島の方々がこのことを伝承しようとしてくれて有難いと思いました。また来ます。

- So moving to be here and feel the personal stories and experiences of the bombing. An honor to leave my father's name and photo to be among the other survivors and victims of the Hiroshima atomic bomb. May our world never experience this again and may we work toward peace for all. (台湾)

【翻訳】ここで人々の話や被爆体験を感じたことは感動的でした。広島に被爆者の方々の間に父の名前と写真を残すことができ光栄です。私たちの世界がこのような経験を二度と繰り返すことがないように、また私たちがあらゆる人の平和のために行動できますように。

- May this place be forever the symbol of will for peace. (不明)

【翻訳】この場所が永遠に平和の意志のシンボルでありますように。

- Thank you for preserving the memories of all those that perished in the bombing. It's important to show that beyond any ideology, there are humans who simply want to live. Thank you for reinforcing that message in all of us. (不明)

【翻訳】原爆で亡くなった全ての人の思い出を保存してくださりありがとうございます。イデオロギーの違いを超え、ただ生きたい、と願う人々がいることを示すのは大切です。私たち一人一人の中にそのメッセージを強化していただき感謝します。

- It was a very powerful and moving experience to see the horrendous impact of 1945. It is refreshing to see how Hiroshima has recovered from this atrocity. May we all live in Peace. (イギリス)

【翻訳】1945年に起きた恐ろしい衝撃的な出来事を知ることは、非常に強く、心動かされる経験でした。この災禍からヒロシマがどう復興したかを見ることで心が洗われました。全ての方が平和に暮らせますように。

- Thank you for the care and thought in this hall to bring the human real faces to this

tragedy. The design of the hall shows such intelligent and passion. (オーストラリア クイーンズランド州)

【翻訳】この悲劇で犠牲となった方々の実際の顔を配置するという祈念館の配慮と考えに感謝します。館のデザインに知性と情熱を感じます。

- Learned about the horrors of war and hope this never happens again. This museum conveys the right message. (アメリカ ハワイ州)

【翻訳】戦争の恐ろしさを知りました。この館は正しいメッセージを伝えています。

- 初めて広島を訪れました。怖くて恐ろしくて二度と戦争など起こしてはいけない！（残こくなものはないから広島はおそろしいだけじゃないですよ！）
- This was first visit to this memorial, and I was very emotional. Thank you for reminding me how important it is to remember history. (不明)

【翻訳】初めて祈念館を訪問し、とても感情を揺さぶられました。歴史を記憶することがいかに重要かを思い出させてくださりありがとうございました。

- The visit to Hiroshima has been incredibly emotional. I pray for peace here and all around the world. Humans have not learned anything from the past. I hope this madness will end one day. (イギリス)

【翻訳】広島への旅は信じられないほどに感情に訴えるものになりました。広島と世界中の平和のために祈ります。人類は過去から何も学んでいません。いつの日かこの狂気が終わることを望みます。

- 娘と一緒に初めて来ました。祖父の母、姉、妹の写真を見つけました。初めて顔写真を見ることができました。会うことのできなかつた方々との写真での対面は思っていた以上に心揺さぶるものでした。もう戦争という名の人殺しはやめましょう。Peace on earth. 人々に平和と笑顔が安心とともに訪れますように。
- 空白の天気図、气象台員のヒロシマを見て、原爆や戦争はとても深刻なもので、ただふつうに生きている「つみ」のない人まで犠牲にしてしまう恐ろしいものだと知りました。もう二度とこのようなことは起きてはいけない。
- ブラジルで生まれ育ったが、お父さんは「被爆者」でした。今回は広島に初めて来ました。世界がずっと平和でありますように祈ります。今日1月13日はお父さんの誕生日です。生きていたら83歳になっていたはず。お父さんは2011年7月17日にブラジルの病院で癌で亡くなりました。お父さんの名前は向井泰でした。
- 長崎出身です。子どもの頃から平和学習はしてきました。初めて広島に来ました。来られて良かったです。そしてこんな立派な建物が無料なのに驚きました。原爆資料館だけでなく、こちらにも足を運んでほしいと思いました。



- Remembering all the lives lost on August 6th, 1945 and all those that have lost their lives since as a result of the bombing. (不明)

【翻訳】1945年8月6日に失われた全ての命と、原爆の結果として命を落とした全ての方を追悼します。

- おおよそうんねんぶりに来ました。希死念慮がこみ上げてきたこともありましたが、当時を思うとつらさがこみ上げてきました。争いのない世界でありますように。
- すいぶん前な感じになりますが、NHKの特番にあった家族の追跡の記録を今でも時々思い出します。あの時集めた声もここにあるといいかな、と。ありがとうございます。また来ます。
- This terrible event is so well documented and preserved for future generations in a highly commendable manner! Thank you for making this available for anyone and all to ponder and understand! May all beings be happy and may peace prevail in the world and the universes! (日本 大阪)

【翻訳】この悲惨な出来事は非常によく記録され、後世のために素晴らしい手法で保存されています。誰もが利用し、じっくりと考え理解できるようにして下さりありがとうございます！全ての生きとし生けるものが幸せになり、平和が世界と宇宙に広がりますように！

- 現在アメリカ在住の37歳です。日本で生まれ、日本で育ち、日本人であるにもかかわらず広島・長崎について学校で習った以外のことは何も知りませんでした。今住んでいる場所は、私が唯一の日本人であり、アメリカ人のみならず海外の人に広島のことについて聞かれる機会があっても詳しく答えられずにいました。日本人として広島について知りたいと思い、今回広島にやって来ました。このようなことが二度と繰り返されることのないよう歴史が風化されないよう願うばかりです。
- This remembrance hall is a wonderful dedication to all who perished. As an American, married to a Japanese woman I feel there is still a lot to learn and information be put out for everyone to see and read. It was an emotional journey to see the results of what an nuclear bomb could cause. I hope the whole world can see what happened and realize that nuclear weapons need to be abolished! I pray that all lives lost are resting in peace. Also the peace will overcome the world and love will spread everywhere. Thank you for your dedication of this hall. (アメリカ 海軍 退職軍人)

【翻訳】この祈念館は亡くなった全ての方に捧げる素晴らしい場所です。日本人女性と結婚した一人のアメリカ人として、学ぶべきことや全ての人の目に触れるべき情報がまだたくさんあるのだと感じました。核爆弾がもたらしうる結果を知る精神的な旅となりました。ここで起きたことを全世界が知り、核兵器は廃絶されるべきだと分かっしてほしいと思います。失われた全ての命のご冥福を祈ります。また平和が世界を制し、愛があまねく広がることを望み

ます。この館への献身に感謝します。

- 親族2名が被爆しております。父はあの日いなかったのですが、今でも広島の話に触れることは慎重です。被爆前に米軍（B29？）から撮影された市内全域が収まる写真を見ました。おそらく父たちも在住していた家もありましたが、かつて聞いていたとおりの姿でした。こうした記録は末永く後世に伝えていくべきだと思います。

- There is so much to absorb here what is new. Most moving (among so many things profoundly moving) was to learn of the dedication of the meteorologists so driven by their sense of duty that they made supreme efforts in unspeakable circumstances to continue with their second by second record of changes in the weather (all aspects of weather forecasting being regarded as a military secret and, as such, banned from publication.) One key document remains - the only contemporary document to contain records of the actual experiences of some who survived. God bless its compiler, Kita, for his dedication and perseverance. (イギリス ウィットビー)

【翻訳】ここには吸収すべき新しいものがとてもたくさんあります。(多くの非常に心を揺さぶられるものの中で) もっとも心を揺さぶられたのは、義務感から筆舌に尽くしがたい状況下で天候の変化(あらゆる気象の予測は軍事機密とされており、そのために公開は禁じられていました。)を秒単位で記録し続けた、気象予報士たちの究極の努力を知ったことです。鍵を握る記録が残っていて、そこには生き残った数人が実際に経験したことが記録されている唯一の資料でした。資料を編集した北さんの献身と忍耐力に神の恵みがありますように。

- Thank you to everyone who has worked on this museum and keeping the memory of so many victims still alive. When I visited and learn about the atrocities of this war, even if it didn't even happen near me not my country, my heart breaks. Let's keep fighting for peace. (不明)

【翻訳】この館で働きこれほど多くの犠牲者の記憶を保存し生かしている全ての方に感謝します。ここを訪れ、先の戦争の残虐さを学び、それは私の近く、私の国で起きたことではないけれど、胸が痛みました。平和のために戦いましょう。

- This exhibit was eye opening it has taught me to appreciate the life I have been blessed with. Hopes and prayers for those affected and for eradication (ママ) of atomic weapons and war. (不明)

【翻訳】この展示は目を見張るもので、授かった命に感謝することを私に教えてくれました。被害に遭われた方に祝福と祈りを捧げ、核兵器と戦争の撲滅を願います。

## 入館者からの感想や意見・要望等

長崎祈念館 1頁～4頁



## 長崎祈念館における入館者からの感想や意見・要望等

### 1. 概要

平成17年2月から「ご意見ノート」を置き、入館者に感想や意見等を自由に記入してもらっている。外国語（英語、ハングル、中国語、アラビア語、アジア・ヨーロッパ各言語）での感想・意見が半数以上を占めた。

### 2. 主な意見・要望等

特になし。

### 3. 感想（感想ノート原文のまま掲載）

#### (1) 祈念館について

○長崎に来たのは初めてです。この場所に来て本当によかった。自分のすべきことを再確認しました。“世界平和”（日本）

○心に響く、心に残る忘れる事が出来ないほどの思いがあふれている空間だと思いました。（日本）

○平和への祈願は人々の心を繋げ、この場所で形ある象徴として存在していると思います。世界戦争の犠牲も、冷戦の綱渡りも、いずれなくなり、更に永い平和を迎えることを祈ります。（日本）

○このようなミュージアムを造っていただいたこと、長崎の原爆について語っていただいていることに感謝します。私は二度とこのような被爆者をつくらないことを望みます。私は今日多くのことを学びました。とても複雑な心境です。私は心からすぐにでも平和が私たちの心に宿ることを望みます。第3次世界大戦が起きませんように。すべての方に平和が訪れますように。

（原文英語 不明）

○とても美しい記念碑をありがとう。私は私たち自身と世界の平和を願っています。（原文英語 イスラエル）

○この記（祈）念館の見学により、原爆が人の身心を傷つけたことに深い理解と共感をもたらしてくれた。この記（祈）念館設立に当たって、すべての関係者に感謝している。（原文中国語 不明）

○今日、旧友、家内と一緒に長崎原爆資料館を訪れて、非常に複雑な気持ちを味わった。なぜかと言うと、ここは広島原爆資料館と同じ、沢山の人が原爆によって亡くなったからだ。世界中に二度と戦争が起こらないように。

(原文中国語 中国)

○このような悲惨な体験のお話を私たちに学ばせていただきこのミュージアムに感謝いたします。私と私の両親は、ここで多くを学びました。悲しみの中から平和と愛の上に築かれた世界への一筋の光を見ました。(原文英語 不明)

○戦争を望んでいる人は、一度この回廊を歩いてほしい。(原文英語 不明)

○この場所は、私たちが私たちの生活に平和をどれほど必要としているかを気づかせてくれました。物事を正しくするのに遅すぎるということはありません。許し、親切にするためのスペースと時間はあると信じています。愛をどこにでも、誰にでも広げましょう。(原文英語 不明)

○この地球に住む人々にとって、必要な体験。長崎原爆の惨禍を二度と繰り返さないために。(原文スペイン語 不明)

## (2) 展示について

○私は被爆者の手記に同名の看護師の方の名を見つけて胸が苦しくなりました、私は戦争を知りません。でも災害であっても人が亡くなることは二度とおきてほしくありません。(日本)

○長崎で被爆したおじいちゃんのためにここまで来ました。被爆者名簿(遺影登録)におじいちゃんの名前があってよかった。(日本)

○初めて長崎に来ました。とても景色がよくて、よい街ですね。街を歩いていると、本当にここに原爆が落ちたのかと不思議に思うほどでした。資料館、平和祈念館を見た今、外に出て今の景色を見るのが少し怖いです。当たり前は一瞬で吹き飛んでしまうと分かったからかもしれません。怖さも命の大切さも、いろいろと考えさせられました。一生懸命生きようと思います。家族と話せることも、道を歩けることも、感謝して生きていきたいと思いました。二度と同じことが起こりませんように。(日本)

○ここは、「被爆とは何か」を連想させてくれる（原文中国語 不明）

○とてもわかりやすい展示がされており、改めて戦争の悲惨を感じる事ができました。私は被爆地に近い地域の出身ではありません。だからこそ、この資料館のような場所を私の住む市町村にも置き、他人事ではないことを未来に知らせなくてははいけないと感じました。（日本）

### (3) 平和に向けての主張

○今も戦争が起こってしまっていて、その戦争にあっている人々は、こんな苦しい思いをしているのかと思い、改めて戦争は起こしてはいけない悲劇であり、今起こっている戦争を絶対に止めないといけないと思った。（日本）

○原爆によって亡くなられた方々の思いを引継ぎ、次の世代へ伝えていきたいと思います。ご冥福をお祈りいたします（日本）

○長崎原爆投下について、詳細を教えていただき、本当にありがとうございました。このような感動が私たちの心に届くことを願っています。みんなの平和を願う今日この頃です。

（原文英語 不明）

○原爆被害者の魂が神様の下で安らぎを得られることを願います。

（ハングル 韓国）

○日本がいつも平和でありますように。日本が大好きです。長崎を訪れました。

（原文ハングル 韓国）

○世界に戦争のない平和が訪れますように。原爆犠牲者の冥福と平安を祈ります。（原文ハングル 韓国）

○世界が平和であることを願います。（原文ハングル 不明）

○この世界が永遠の平和で満たされますように（原文タイ語 タイ）

○世界が平和になりますように（原文タイ語 不明）

○私平和な世界を見えた。戦争はこの地球上から消え、人々は平和な暮らしを楽し

しんでいる。全ての人には愛の光の中で暮らしている。(原文中国語 不明)

○平和を大事にし、二度と戦争が起こらないように。(原文中国語 中国)

○世界の平和を願う！罪のない命を苦しめるな！未だに戦争を煽る者は、死に近づいている。また平和を愛する人々から切り離されている！

(原文中国語 不明)

○世界に戦争のない平和が訪れますように。原爆犠牲者の冥福と平安を祈ります。

(原文ハングル 不明)

○日本で原爆で死んでいった韓国人を追悼します。(原文ハングル 不明)

#### (4) その他

○戦争の理不尽さ、痛ましさは心の底に突き刺されました。小学生の息子とともに、忘れてはいけない歴史。次世代へ語り継ぎ、平和な日本を、世界を守りたい。沢山の外国人の方にも来て頂き、日本人としてはありがたい(日本)

○平和を祈念し、犠牲者を追悼してここを発ちます。平和が長く続くことを願います。(原文ハングル 韓国)

○歴史を忘れずに覚えていてほしい。(原文ハングル 韓国)

○この地球に住むすべての人々にこの地を訪れる経験が必要です。原爆投下による広島、長崎に起きた悲劇が二度と繰り返されませんように。

(原文スペイン 不明)

○私は長崎について学校で学びました。その後何年か経ちこの地に来たのは不思議でささやかな体験です。この経験はこれから何年先も私の心の中に残ると思います。私はきっと私の友達や家族に話します。私たちは過去を学ぶことで、一緒に明るい未来を作ることができます。(原文英語 不明)